

活動を継続、業績は好調

	クレディ・アグリコル S.A.		クレディ・アグリコル・グループ	
単位：百万ユーロ	2025 年度 第 3 四半期	前年同期比の 増減率	2025 年度 第 3 四半期	前年同期比
収益	6,850	+5.6%	9,731	+5.6%
経費	-3,837	+4.0%	-5,787	+3.5%
営業総利益	3,013	+7.7%	3,944	+8.9%
リスク関連費用	-489	+13.0%	-869	+8.4%
純利益グループ帰属分	1,836	+10.2%	2,316	+11.4%
コスト比率	56.0%	-0.8 パーセント・ ポイント	59.5%	-1.2 パーセント・ ポイント

全事業部門の活動が継続

- ローン組成は継続：フランスでは住宅ローンが引き続き増加し（前年同期比 18%増）、企業向け貸付も好調な勢い（前年同期比 14%増）、国際的な貸付活動は継続、消費者金融活動は高水準を維持し、従来型のセグメントと自動車セグメントで均衡
- 生命保険（フランスなど）と資産運用では高水準の資金流入（中長期主導）。保険部門では、すべての事業活動により収益水準が高い
- 法人営業及び投資銀行業務の収益は 9 ヶ月累計期間で過去最高、四半期でも好調

業績は好調

- 2025 年 9 ヶ月累計期間及び 2025 年度第 3 四半期の業績は好調
- 高水準かつ増加傾向の四半期収益（前年同期比 5.6%増）、低いコスト比率（2025 年度 9 ヶ月累計期間で 54.6%、前年同期比で安定的）を原動力として、高い収益性（有形株主資本利益率 15.4%）を実現
- リスク関連費用は安定（残高に対して 35 ベーシス・ポイント）

高いソルベンシーレシオ

- クレディ・アグリコル S.A.の段階的導入 CET1 レシオは 11.7%、CA グループの段階的導入 CET1 レシオは 17.6%

サンタンデールの保有する CACEIS の持分 30.5%の取得を完了

エネルギー移行支援の継続

- エネルギー移行のための融資及び投資を引き続き実施
- 家庭および企業のエネルギー移行を支援

ドミニク・ルフェーヴル

SAS Rue La Boétie の会長兼クレディ・アグリコル S.A.の取締役会議長

「当四半期に発表する好業績により、当グループは、各地での当グループの事業の貢献を改めて確認できました。日々、顧客のために尽力している当グループの 15 万 7,000 人の従業員に心から感謝するとともに、当四半期に加わった 52 万 2,000 人の新規顧客を歓迎したいと思います。」

オリビエ・ガヴァルダ

クレディ・アグリコル S.A.最高経営責任者

「全事業分野での継続的な活動により、当グループは 2025 年度第 3 四半期および 9 ヶ月累計期間に好業績を達成しました。この業績は、欧州経済及び各国の発展を支える主導的な役割を果たすという当グループのコミットメントを後押しするものです」

本プレスリリースは、クレディ・アグリコル S.A.に加え、クレディ・アグリコル S.A.の各事業体とクレディ・アグリコル S.A.の 63.0%を保有するクレディ・アグリコル地域銀行から構成されるクレディ・アグリコル・グループの業績についてコメントしています。

クレディ・アグリコル・グループ、クレディ・アグリコル S.A.および事業部門の業績、損益計算書と収益率の両方について、すべての財務データが表示されています。

クレディ・アグリコル・グループ

当グループの活動

当四半期における当グループの営業活動は、すべての事業部門で引き続き順調に推移し、顧客獲得も高水準となりました。2025 年度第 3 四半期、当グループはリテール・バンキング部門で 52 万 2,000 人の新規顧客を獲得しました。年初来、フランスのリテール・バンキング部門の新規顧客数が 41 万 8,000 人、（イタリアとポーランドの）国際リテールバンキング部門の新規顧客数が 10 万 4,000 人となりました。2025 年 9 月 30 日現在、リテール・バンキング部門では、オン・バランスシートの預金がフランス及びイタリアで前年同期比 0.6%増の総額 8,350 億ユーロ（地域銀行及び LCL で 0.5%増、イタリアで 1.3%増）となりました。貸付残高は、フランス及びイタリアで前年同期比 1.5%増の総額 8,890 億ユーロ（地域銀行及び LCL で 1.6%増、イタリアで 1.3%増）となりました。フランスの住宅ローンの組成は、2024 年初頭の低水準から回復を続けており、2024 年度第 3 四半期と比べて地域銀行では 23.4%、LCL では 1%増加しました。CA イタリアのローン組成は、2024 年度第 3 四半期比で安定的です。損害保険のクロスセル・レート⁽¹⁾は、地域銀行では 44.6%（2024 年度第 3 四半期と比べて 0.8 パーセント・ポイント増）、LCL では 28.6%（同 0.7 パーセント・ポイント増）、CA イタリアでは 20.6%（同 0.6 パーセント・ポイント増）に上昇しました。

資産運用部門では、四半期の資金流入が、中長期資産（+90 億ユーロ）を支えに、+150 億ユーロと非常に好調に推移し、顧客とジョイント・ベンチャーの 2 つの主要セグメントでプラスとなりました。保険では、貯蓄・退職金の総資金流入額が当四半期に過去最高の 90 億ユーロ（前年同期比 26%増）に増加し、組成におけるユニット・リンク型商品の比率は 35%と高水準を維持しました。純流入額は 38 億ユーロと高水準になり、ユーロ建てファンドとユニット・リンク型商品に均等に流入しました。損害保険に関しては、業績は好調で、保険料の改定と契約ポートフォリオの件数増加（2025 年 9 月末時点の契約件数は 1,720 万件、前年同期比 4%増）が牽引しました。運用資産は、3 つの事業分野で前年同期比 5.9%増の 2 兆 9,740 億ユーロとなりました。内訳は、資産運用は 2 兆 3,170 億ユーロ（前年同期比 5.7%増）、生命保険が 3,667 億ユーロ（前年同期比 6.8%増）、ウェルス・マネジメント（インドスエズ・ウェルス・マネジメントおよび LCL プライベート・バンキング）が 2,900 億ユーロ（前年同期比 5.8%増）でした。

SFS 部門の事業は好調に推移しました。CAPFM では、消費者金融の融資残高は 1,220 億ユーロに増加し、2024 年 9 月末から 4.5%増加しました。自動車金融活動が融資残高全体の 53%⁽²⁾を占め、新規ローン組成は 2024 年度第 3 四半期から 3.7%増加し、従来型の消費者金融と自動車金融活動で均衡しています。クレディ・アグリコル・リーシング&ファクタリング（CAL&F）については、リース融資残高が 2024 年 9 月比 4.3%増の 209 億ユーロとなりました。しかし、組成はフランスを中心に 2024 年度第 3 四半期比で 9.8%増加しました。しかし、ファクタリング事業は落ち込み、組成は前年比で 37%減少しました。

大口顧客部門は好調な勢いを維持し、中でも法人営業及び投資銀行業務が 9 ヶ月累計期間で過去最高の収益を達成し、四半期でも高水準の業績をあげました。資本市場及び投資銀行業務は、トレーディングとプライマリー・クレジットをはじめとする資本市場業務を原動力として、収益が高水準で推移し（2024 年度第 3 四半期比 3.9%増）、模様眺めのなかでのストラクチャード・エクイティ業務の減収を一部相殺しました。ファイナンス業務（2024 年度第 3 四半期比 2.7%増）では、再生可能エネルギー分野で好調な勢いを維持しているストラクチャード・ファイナンスと、買収ファイナンス分野を原動力とする CLF 事業が牽引役となっています。最後に、資産運用サービス事業のカストディ資産残高は 5 兆 7,010 億ユーロ、管理資産残高は 3 兆 5,730 億ユーロ（2024 年 9 月末と比べて、それぞれ 12.6%増と 5.5%増）と高水準となりましたが、これは前期比での好調な販売モメンタムとプラスの市場効果によるものでした。

⁽¹⁾ 自動車、住宅、健康、法務、すべての携帯電話または個人傷害保険

⁽²⁾ CA オートバンク、自動車関連のジョイント・ベンチャー、その他の事業体の自動車事業

エネルギー移行支援の継続

当グループは引き続き、エネルギー移行を促進するための多数の融資及び投資を実施しています。その結果、クレディ・アグリコル・グループの低炭素エネルギー融資のエクスポージャー⁽³⁾は2020年末から2025年6月の間に2.6倍に増加し、2025年6月30日現在で279億ユーロとなりました。低炭素エネルギーへの投資⁽⁴⁾は、同期間に2.8倍に増加し、2025年6月30日時点で61億ユーロに達しました。

同時に、クレディ・アグリコルはユニバーサル・バンクとして、すべての顧客のエネルギー移行を支援しています。これにより、2025年6月30日現在、環境移行に関連する残高⁽⁵⁾は1,143億ユーロで、そのうち844億ユーロはエネルギー効率の高い不動産、69億ユーロはクリーン輸送およびクリーン・モビリティに充てられています。

さらに、当グループは炭素エネルギー・ファイナンスからの脱却を進めています。化石燃料採掘への融資から段階的に撤退した結果、2020年末から2024年末の間にエクスポージャーは40%減少し、2024年12月31日現在で56億ユーロとなりました。

⁽³⁾ 低炭素エネルギーのエクスポージャーは、クレディ・アグリコル・グループのすべての事業体の顧客が生産する再生可能エネルギーからなり、クレディ・アグリコル CIB の核エネルギーのエクスポージャーを含みます。

⁽⁴⁾ CAA の残高（直接運用の上場投資、委託運用の上場投資及び直接運用の非上場投資）および Amundi Transition Energétique

⁽⁵⁾ グループ内の持続可能な資産フレームワークにしたがった環境移行を目的とした、直接または EIB 経由のクレディ・アグリコル・グループの残高。

当グループの業績

2025 年度第 3 四半期には、クレディ・アグリコル・グループの純利益グループ帰属分は、2024 年度第 3 四半期と比べて 11.4%増の 23 億 1,600 万ユーロでした。

2025 年度第 3 四半期の収益は 97 億 3,100 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期に比べて 5.6%増加しました。2025 年度第 3 四半期の営業費用は前年同期比 3.5%増の 57 億 8,700 万ユーロとなりました。全体として、クレディ・アグリコル・グループのコスト比率は 2025 年度第 3 四半期に 59.5%となり、2024 年度第 3 四半期から 1.2 パーセント・ポイント低下しました。その結果、営業総利益は前年同期比 8.9%増加して 39 億 4,400 万ユーロとなりました。

信用リスク関連費用は、前年同期比 8.4%増の 8 億 6,900 万ユーロでした。当該費用は、正常債権（ステージ 1 及びステージ 2）に対する引当金の 2,100 万ユーロ増、確認済みリスク（ステージ 3）関連費用の 8 億 300 万ユーロ増が含まれます。その他のリスク関連費用が 4,400 万ユーロありました。引当水準は、いくつかの加重経済シナリオを考慮し、センシティブなポートフォリオに一定率の調整を加えることによって決定されました。第 3 四半期の加重経済シナリオは第 2 四半期から据え置かれ、中央のシナリオ（フランスの GDP 成長率は 2025 年に+0.8%、2026 年に+1.4%）、好ましくないシナリオ（フランスの GDP 成長率は 2025 年に+0.0%、2026 年は+0.6%）、最悪のシナリオ（2025 年のフランスの GDP 成長率は-1.9%、2026 年は-1.4%）が想定されています。残高に対するリスク関連費用⁽⁶⁾はローリング 4 四半期ベースで 27 ベーシス・ポイント、年換算の四半期ベースで 29 ベーシス・ポイントでした⁽⁷⁾。

当四半期の税引前利益は、2024 年度第 3 四半期比で 8.6%増の 31 億 2,500 万ユーロでした。当該税引前利益には、持分法適用会社の寄与 5,000 万ユーロ（19.2%減）が含まれます。税金費用は 7 億 4,500 万ユーロとなり、前期比で 1 億 5,800 万ユーロ（27.0%）増加しました。

非支配持分控除前の純利益は 3.9%増加して 23 億 7,900 万ユーロとなりました。非支配持分は 70.1%減少しました。これは、2025 年度上半期に CACEIS に計上された非支配持分が第 3 四半期に消却されたことによるものです。

2025 年 9 ヶ月累計期間の純利益グループ帰属分は、前年同期の 64 億 9,100 万ユーロから 9.7%増加して 71 億 2,000 万ユーロとなりました。

2025 年 9 月末時点の収益は合計 295 億 8,600 万ユーロとなり、2024 年 9 月末時点と比べて 4.8%増加しました。営業費用は、特に事業開発支援、IT 支出、連結範囲変更の影響により、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 4.7%増加し、176 億 5,100 万ユーロとなりました。2025 年 9 ヶ月累計期間のコスト比率は、前年同期と比べて 0.1 パーセント・ポイント低下し、59.7%となりました。営業総利益は 119 億 3,600 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 4.9%増加しました。

2025 年 9 ヶ月累計期間のリスク関連費用は 24 億 4,300 万ユーロ（うち、正常債権に対するリスク関連費用が 4,500 万ユーロ（ステージ 1 及びステージ 2）、確認済みリスク関連費用が 23 億 2,600 万ユーロ、その他のリスク関連で 7,300 万ユーロ）とやや増加し、前年同期と比べて 5.1%増加しました。

2025 年 9 月 30 日現在、リスク指標はクレディ・アグリコル・グループの資産とリスクに対する引当水準の質の高さを裏付けています。2025 年 9 月末時点の貸倒引当金は 219 億ユーロ（地域銀行の 124 億ユーロを含む）で、うち 42%（地域銀行は 47%）は正常債権に対する引当金でした。これらの貸倒引当金を慎重に管理することにより、クレディ・アグリコル・グループは、2025 年 9 月末時点で 83.1%の要注意債権引当率を確保できました。

持分法適用会社の収益は 11.3%減の 1 億 8,000 万ユーロとなりました。その他資産からの純利益は 2025 年 9 月末時点で、2024 年 9 月末時点のマイナス 1,900 万ユーロに対して、4 億 5,600 万ユーロとなりました。非継続事業と非支配持分控除前の税引前利益は 9.6%増加して 101 億 2,800 万ユーロとなりました。税金費用は 14.1%増の 24 億 100 万ユーロでした。これには 2 億 4,900 万ユーロの特別法人税が含まれます（2025 年の見

⁽⁶⁾ ローリング 4 四半期のリスク関連費用／残高（ベーシス・ポイント）は、過去 4 四半期のリスク関連費用を、当該 4 四半期の各期首時点の残高の平均で除して算出されています。

⁽⁷⁾ 年換算のリスク関連費用／残高（ベーシス・ポイント）は、当四半期のリスク関連費用を 4 倍し、当四半期の期首時点の残高で除して算出されています。

積税額は約 2 億 8,000 万ユーロ)。

その結果、非支配持分控除前の基礎純利益は 8.3%増加しました。非支配持分は 5.4%減少し、2025 年 9 月末時点で 6 億 800 万ユーロとなりました。

クレディ・アグリコル・グループの 2025 年度第 3 四半期および 9 ヶ月累計期間の損益計算書

€m	Q3-25	Q3-24	Δ Q3/Q3	9M-25	9M-24	Δ 9M/9M
Revenues	9,731	9,213	+5.6%	29,586	28,244	+4.8%
Operating expenses	(5,787)	(5,590)	+3.5%	(17,651)	(16,866)	+4.7%
Gross operating income	3,944	3,623	+8.9%	11,936	11,378	+4.9%
Cost of risk	(869)	(801)	+8.4%	(2,443)	(2,324)	+5.1%
Equity-accounted entities	50	61	(19.2%)	180	203	(11.3%)
Net income on other assets	(0)	(5)	(97.6%)	456	(19)	n.m.
Change in value of goodwill	-	-	n.m.	-	-	n.m.
Income before tax	3,125	2,877	+8.6%	10,128	9,238	+9.6%
Tax	(745)	(587)	+27.0%	(2,401)	(2,104)	+14.1%
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	(0)	-	n.m.	0	-	n.m.
Net income	2,379	2,291	+3.9%	7,727	7,134	+8.3%
Non controlling interests	(63)	(211)	(70.1%)	(608)	(643)	(5.4%)
Net income Group Share	2,316	2,080	+11.4%	7,120	6,491	+9.7%
Cost/Income ratio (%)	59.5%	60.7%	-1.2 pp	59.7%	59.7%	-0.1 pp

地域銀行

顧客獲得総数は 29 万 6,000 人増となりました。当座預金をメイン口座として利用する顧客の割合は安定しており、デジタルツールを利用する顧客の割合は増加傾向にあります。クレジットの市場シェア（クレジット全体）は 22.6%（2025 年 6 月末時点。出所：フランス銀行）で、2024 年 6 月と比べて 0.1 パーセント・ポイント上昇しました。ローン組成は好調に推移し、住宅ローン（2024 年度第 3 四半期比 23.4%増）と専門市場（同 9.7%増）により、2024 年度第 3 四半期比で 16.2%増加しました。住宅ローンの平均貸出金利は 3.01%⁽⁸⁾で、2025 年度第 2 四半期を 1 ベーシス・ポイント下回りました。対照的に、世界全体の貸付残高率は 2024 年度第 3 四半期と比べて改善しました（+4 ベーシス・ポイント）。2025 年 9 月末の貸付残高は合計 6,540 億ユーロで、すべての市場で前年比 1.3%増となり、前期比では 0.4%増とわずかに増加しました。2025 年 9 月末時点の顧客資産は前年同期比 3.2%増の 9,316 億ユーロとなりました。この伸びの原動力は、要求払預金（前年同期比 1.9%増）と通帳式預金口座（同 5.2%増）により 6,093 億ユーロとなったオン・バランスシートの預金（同 1.3%増）と、生命保険への好調な資金流入の恩恵を受けて 3,223 億ユーロとなったオフ・バランスシートの預金（前年同期比 6.8%増）でした。オン・バランスシートの預金の市場シェアは前年比で増加し、20.2%となりました（出所：フランス銀行の 2025 年 6 月末のデータ。2024 年 6 月末比 0.2 パーセント・ポイント上昇）。2025 年 9 月末の損害保険のクロスセル・レート⁽⁹⁾は 44.6%となり、引き続き上昇しました（2024 年 9 月末と比べて 0.8 パーセント・ポイント上昇）。支払手段では、カード枚数が前年同期比 1.3%増加し、プレミアムカードの割合が総数ベースで前年同期比 2.5 パーセント・ポイント増加しカード全体の 18.5%を占めました。

2025 年度第 3 四半期、SAS Rue La Boétie の配当を含む地域銀行の連結収益は、2024 年度第 3 四半期比で 5.7%増加し、34 億 400 万ユーロになりました。当該増収は、当四半期における調達資金コストの低下（とりわけ、規制されている通帳式預金口座の金利の低下）に伴う仲介マージンの改善（2024 年度第 3 四半期比 8.6%増、2025 年度第 2 四半期比 13%増）が原動力となりました。手数料収入は、当期に増加しました⁽¹⁰⁾。営業費用は 1.2%増と抑制され、特に IT 支出が増加しました。営業総利益は前年比で 18.5%増加しました。リスク関連費用は 2024 年度第 3 四半期比で横ばい（1.3%増）の 3 億 7,400 万ユーロとなりました。残高に対するリスク関連費用（ローリング 4 四半期）も、21 ベーシス・ポイントと抑制された水準で、2025 年度第 2 四半期と比べて安定して推移しました。その結果、税引前純利益は 32.1%増の 6 億 1,600 万ユーロとなりました。地域銀行の連結純利益は 4 億 5,500 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期から 29.8%増加しました。最後に、2025 年度第 3 四半期の地域銀行の純利益グループ帰属分は、2024 年度第 3 四半期比 21.7%増の 4 億 5,100 万ユーロでした。

2025 年 9 ヶ月累計期間には、SAS Rue La Boétie の配当を含む収益は、前年同期と比べて増加（3.8%増）しました。営業費用は 2.7%増となり、その結果、2025 年 9 ヶ月累計期間に営業総利益は 5.6%増加しました。最後に、リスク関連費用が 1.4%増と小幅増加したのに伴い、SAS Rue La Boétie の配当を含む地域銀行の純利益グループ帰属分は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 4.1%増加し、31 億 7,600 万ユーロになりました。最後に、2025 年 9 ヶ月累計期間におけるクレディ・アグリコル・グループの業績への地域銀行の寄与は 9 億 7,400 万ユーロ（4.6%減）となり、収益が 101 億 3,800 万ユーロ（3.1%増）、リスク関連費用が 10 億 9,200 万ユーロ（3.5%増）となりました。

⁽⁸⁾ 2025 年 7 月及び 8 月の月間組成ローンの平均金利

⁽⁹⁾ 住宅保険、自動車保険、医療保険、弁護士保険、すべてのモバイルもしくはポータブル保険、または個人損害保険のクロスセルレート

⁽¹⁰⁾ 非銀行系保険間接費の手数料費用への会計上の組替を除く

クレディ・アグリコル S.A.

業績

2025 年度第 3 四半期の財務諸表を検証するため、ドミニク・ルフェーブルを議長とするクレディ・アグリコル S.A.の取締役会が 2025 年 10 月 29 日に開かれました。

2025 年度第 3 四半期には、クレディ・アグリコル S.A.の純利益グループ帰属分は、2024 年度第 3 四半期から 10.2%増加し、**18 億 3,600 万ユーロ**となりました。2025 年度第 3 四半期の業績は、高収益、低水準に維持されたコスト比率、それにリスク関連コストの抑制によるものです。2025 年度上半期に計上された CACEIS の非支配持分の消却も業績に寄与しました。

収益は高水準にあり、増加傾向にあります。収益は合計 68 億 5,000 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 5.6%増加しました。アセット・ギャザリング部門の収益は安定的で (-0.2%) は、保険部門とアムンディの非常に好調な活動が原動力となりましたが、アムンディ US の連結除外 (-8,500 万ユーロ) に伴う連結範囲変更の悪影響により相殺されました。大口顧客部門の収益は、融資活動並びに資本市場及び投資銀行業務におけるクレディ・アグリコル CIB の力強い勢いにより、2.2%増加しました。専門金融サービス部門の収益 (1.6%増) は引き続き、消費者金融及びモビリティ事業におけるプラスの価格効果の恩恵を受けました。フランスにおけるリテールバンキング部門の収益 (0.4%増) は、金利マージンに対する不利なベース効果の影響を受けましたが、手数料収入の好調な勢いにより相殺されました。最後に、国際リテール・バンキング部門の収益 (0.9%減) は、主にイタリアにおける仲介マージンの減少により影響を受けましたが、手数料収入が好調だったことで一部相殺されました。コーポレート・センターの収益は、Banco BPM の有価証券の評価替え (2 億 4,500 万ユーロ増) の恩恵により、3 億 1,300 万ユーロ増加しました。

2025 年度第 3 四半期の**営業費用**は合計 38 億 3,700 ユーロで、2024 年度第 3 四半期比で 4.0%増加しました。2024 年度第 3 四半期から 2025 年度第 3 四半期までの 1 億 4,900 万ユーロの費用増は、5,000 万ユーロの連結範囲変更および統合費用の好影響⁽¹¹⁾、3,400 万ユーロのイタリアのプラスの非経常項目、8,000 万ユーロのアムンディの再編費用などによるものでした。

その結果、2025 年度第 3 四半期の**コスト比率**は、2024 年度第 3 四半期と比べて 0.8 パーセント・ポイント改善し、56.0%となりました。2025 年度第 3 四半期の**営業総利益**は 30 億 1,300 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期比で 7.7%増加しました。

2025 年 9 月 30 日現在、リスク指標は**クレディ・アグリコル S.A.の資産とリスクに対する引当水準の質の高さ**を裏付けています。不良債権比率は前四半期比ほぼ横ばいで、2.3%と低水準で推移しました。不良債権引当率⁽¹²⁾は前四半期比で 0.5 パーセント・ポイント上昇し、72.7%と高い水準になりました。クレディ・アグリコル S.A.の**貸倒引当金**は 95 億ユーロで、2025 年 6 月末から 1 億ユーロ増加しました。これらの貸倒引当金のうち、34.8%は正常債権に対するものでした。

リスク関連費用は純額で 4 億 8,900 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期比で 13.0%増加しました。これは、不良債権 (ステージ 3) に関する引当金 4 億 9,000 万ユーロ (2024 年度第 3 四半期の引当金は 3 億 8,800 万ユーロ) などによるものです。正常債権 (ステージ 1 及びステージ 2) に対する引当金の純繰入額は、2024 年度第 3 四半期の 3,800 万ユーロ増に対して、1,900 万ユーロの戻入となりました。また、重要な点として、その他の項目に関する引当金 (法的引当金) の追加が 1,800 万ユーロ (2024 年度第 3 四半期には 700 万ユーロ) ありました。事業ライン別では、当四半期の純増は専門金融サービス部門が 57% (2024 年 9 月末は 52%)、LCL 部門が 19% (2024 年 9 月末は 19%)、国際リテール・バンキング部門が 16% (2024 年 9 月末は 14%)、大口顧客部門が 8% (2024 年 9 月末は 4%) を占めました。引当水準は、いくつかの加重経済シナリオを考慮し、センシティブなポートフォリオに一定率の調整を加えることによって決定されました。第 3 四半期の加重経済シナリオは第 2 四半期から据え置かれ、中央のシナリオ (フランスの GDP 成長率は 2025 年に +0.8%、2026 年に +1.4%)、好ましくないシナリオ (フランスの GDP 成長率は 2025 年に +0.0%、2026 年は

⁽¹¹⁾ アムンディ US の連結除外に伴う 5,300 万ユーロ、Aixigo に関する 700 万ユーロの影響、CACEIS の ISB 統合関連費用およびインドスエズ・ウェルス・マネジメント (IWM) の Degroof Petercam の統合関連費用の減少に伴う 400 万ユーロ

⁽¹²⁾ ステージ 3 の残高を分母とし、ステージ 1、2 及び 3 で計上された引当金の合計を分子として計算した引当率

+0.6%)、最悪のシナリオ（2025 年のフランスの GDP 成長率は-1.9%、2026 年は-1.4%）が想定されています。2025 年度第 3 四半期には、残高に対するリスク関連費用がローリング 4 四半期ベース⁽¹³⁾で 35 ベーシス・ポイント、年換算の四半期ベース⁽¹⁴⁾で 35 ベーシス・ポイントとなりました（2024 年度第 3 四半期からそれぞれ 1 ベーシス・ポイントと 3 ベーシス・ポイント悪化）。

2025 年度第 3 四半期の持分法適用会社の寄与は 2,900 万ユーロで、2024 年度第 3 四半期と比べて 1,300 万ユーロ（32.1%）減少しました。この減少は、リマーケティング収入の減少とここ数四半期の CAPFM の中国における活動の悪化に伴うもので、プラスの連結範囲変更の影響である Victory Capital の寄与（1,700 万ユーロ増）より埋め合わされました。よって、非継続事業と非支配持分控除前の税引前利益は 6.2%増加して 25 億 5,300 万ユーロとなりました。

税金費用は 6 億 600 万ユーロでした（2024 年度第 3 四半期には 4 億 7,600 万ユーロ）。税金費用の増加は、年内の変動に伴うコーポレート・センター部門のマイナスのベース効果などによるものでした。当該変動は、2024 年度には相殺されました。

非支配持分控除前の純利益は 1%増加して 19 億 4,700 万ユーロとなりました。非支配持分は 2025 年第 3 四半期、2025 年度上半期に CACEIS に計上された非支配持分が第 3 四半期に消却されたことで、57.6%減の 1 億 1,100 万ユーロとなりました。

2025 年 9 ヶ月累計期間の純利益グループ帰属分は、前年同期の 53 億 9,700 万ユーロから 12.1%増加して 60 億 5,000 万ユーロとなりました。

アセット・ギャザリング部門、大口顧客部門、専門金融サービス、コーポレート・センターの業績が寄与し、収益は 2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 5.1%増加しました。営業費用は、特に事業部門の発展支援と連結範囲変更の影響に関連して、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 5.0%増加しました。その結果、2025 年 9 ヶ月累計期間のコスト比率は、前年同期と比べて安定的な 54.6%となりました。営業総利益は 95 億 8,400 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 5.2%増加しました。リスク関連費用は前年同期比 7.0%増加し、13 億 4,400 万ユーロとなりました（2024 年 9 ヶ月累計期間は 12 億 5,600 万ユーロ）。

2025 年 9 ヶ月累計期間の持分法適用会社の寄与は 1 億 600 万ユーロで、前年同期と比べて 2,600 万ユーロ（19.8%）減少しました。2025 年 9 ヶ月累計期間のその他の資産に関する純利益は 4 億 5,700 万ユーロでした。よって、非継続事業と非支配持分控除前の税引前利益は 10.2%増加して 88 億 300 万ユーロとなりました。税金費用は 19 億 7,300 万ユーロでした（2024 年 9 ヶ月累計期間は 17 億 9,000 万ユーロ）。これには 1 億 4,300 万ユーロの特別法人税が含まれます（2025 年の見積税額は 1 億 6,000 万ユーロ）。非支配持分控除前の純利益は 10.1%増加して 68 億 2,900 万ユーロとなりました。非支配持分は 2025 年 9 ヶ月累計期間、前年同期比 29%減少して 7 億 8,000 万ユーロとなりました。

一株当たり利益は、2024 年度第 3 四半期の 0.50 ユーロから 2025 年度第 3 四半期には 0.53 ユーロになりました。

⁽¹³⁾ ローリング 4 四半期のリスク関連費用／残高（ベースス・ポイント）は、過去 4 四半期のリスク関連費用を、当該 4 四半期の各期首時点の残高の平均で除して算出されています。

⁽¹⁴⁾ 年換算のリスク関連費用／残高（ベースス・ポイント）は、当四半期のリスク関連費用を 4 倍し、当四半期の期首時点の残高で除して算出されています。

RoTE⁽¹⁵⁾ は年換算純利益グループ帰属分に基づき、特定の項目を線形化⁽¹⁶⁾して算定しており、2025 年 9 ヶ月累計期間に前年同期比 1.5 パーセント・ポイント増加し 15.4%となりました。

クレディ・アグリコル S.A. - 2025 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の損益計算書

€m	Q3-25	Q3-24	Δ Q3/Q3	9M-25	9M-24	Δ 9M/9M
Revenues	6,850	6,487	+5.6%	21,113	20,089	+5.1%
Operating expenses	(3,837)	(3,689)	+4.0%	(11,528)	(10,978)	+5.0%
Gross operating income	3,013	2,799	+7.7%	9,584	9,111	+5.2%
Cost of risk	(489)	(433)	+13.0%	(1,344)	(1,256)	+7.0%
Equity-accounted entities	29	42	(32.1%)	106	132	(19.8%)
Net income on other assets	1	(4)	n.m.	457	5	x 95.5
Change in value of goodwill	-	-	n.m.	-	-	n.m.
Income before tax	2,553	2,404	+6.2%	8,803	7,991	+10.2%
Tax	(606)	(476)	+27.3%	(1,973)	(1,790)	+10.2%
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	(0)	-	n.m.	0	-	n.m.
Net income	1,947	1,928	+1.0%	6,829	6,201	+10.1%
Non controlling interests	(111)	(262)	(57.6%)	(780)	(803)	(2.9%)
Net income Group Share	1,836	1,666	+10.2%	6,050	5,397	+12.1%
Earnings per share (€)	0.53	0.50	+6.6%	1.88	1.59	+18.3%
Cost/Income ratio (%)	56.0%	56.9%	-0.8 pp	54.6%	54.6%	-0.0 pp

⁽¹⁵⁾ 代替的業績指標における RoTE（有形株主資本利益率）の定義を参照してください。

⁽¹⁶⁾ IFRIC に沿った税、法人税の追加課徴金、アムンディ US の連結除外に伴うキャピタルゲイン税を線形化

クレディ・アグリコル S.A.の各事業部門の活動及び業績の分析

アセット・ギャザリング部門の活動

2025 年 9 月末時点のアセット・ギャザリング (AG) 部門の運用資産は、アセット・マネジメントと保険における純資金流入、当期中の市場及び為替変動によるプラスの影響を主因として、前四半期と比べて 700 億ユーロ (2.4%) 増加し、合計 2 兆 9,740 億ユーロとなりました。前年同期比では、運用資産は 5.9%増加しました。

保険事業 (クレディ・アグリコル・アシュアランス) は非常に好調に推移し、総収益は 118 億ユーロと 2024 年度第 3 四半期に比べて 21.4%増加しました。

貯蓄・退職保険部門では、2025 年度第 3 四半期の収益は 90 億ユーロに達し、2024 年度第 3 四半期と比べて 25.6%増加しました。これは、フランスをはじめとする好調な環境によるものです。総流入額に占めるユニット・リンク型商品の比率⁽¹⁷⁾は 35.0%と、前年比で上昇しました (2.2 ポイント上昇)。純流入額は 38 億ユーロ (2024 年度第 3 四半期比で 22 億ユーロ増) と高い勢いとなり、そのうちユーロ建てファンドの純流入額が 19 億ユーロ、ユニット・リンク型商品の純流入額が 19 億ユーロでした。

運用資産 (貯蓄、退職、及び葬儀保険) は引き続き増加し、3,667 億ユーロ (前年同期比 235 億ユーロ増、6.8%増) となりました。運用資産残高の増加は、非常に高水準の純資金流入とプラスの市場効果が原動力となりました。運用資産残高に占めるユニット・リンク型商品の比率は 30.6%で、2024 年 9 月末比 0.6 パーセント・ポイント上昇しました。

損害保険事業では、2025 年度第 3 四半期の保険料収入は 14 億ユーロと、2024 年度第 3 四半期と比べて 12.2%増加⁽¹⁸⁾しました。平均保険料は、気候変動や修繕費のインフレをきっかけとする料率引上げと商品構成の変化によるプラスの価格効果と、2025 年 9 月末時点で 1,720 万ユーロ超となった保険ポートフォリオ⁽¹⁹⁾ (前年比 3.9%増) による数量効果から恩恵を受けました。最後に、2025 年 9 月末のコンバインドレシオは 95.4%⁽²⁰⁾と、前年比で安定的に推移し、前期比では 0.7 パーセント・ポイント改善しました。

死亡・高度障害、債権者及び団体保険では、2025 年度第 3 四半期の保険料収入は 14 億ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期から 6.9%増加¹⁸しました。個人死亡・障害保険は、平均保証額の増加に伴い 6.3%増加しました。債権者保険は前年同期比 1.2%増加しましたが、不動産ローンの貸付の増加は国際消費者金融の減少により一部相殺されました。団体保険は、特に IEG 契約が 7 月 1 日に発効した際に増加しました。

資産運用 (アムンディ)では、アムンディの運用資産は、2025 年 9 月末時点で過去最高の 2 兆 3,170 億ユーロに達し、前期比 2.2%増、前年比 5.7%増となりました。資産は当四半期に高水準の資金流入 (151 億ユーロ)、352 億ユーロ相当のプラスの市場効果があった一方、米ドルとインドルピーの下落に伴い、-130 億ユーロのマイナスの為替変動の影響もありました。純流入額は、パッシブ運用 (+104 億ユーロ) とジョイント・ベンチャー (+40 億ユーロ) が原動力となりました。機関投資家セグメントは 33 億ユーロの純流入、再内部化された運用委託の終了を除くと 110 億ユーロの純流入となりました (主に債券市場からの流入)。ジョイント・ベンチャーは 40 億ユーロの純流入となりました。資金流出があったものの、インドでの MLT⁽²¹⁾ 資産への流入が好調を維持し、中国でのアクティブ運用への流入も勢いを維持しました。最後に、リテール部門は第三者の流通業者を中心に当四半期中に 77 億ユーロの純流入となりました。

⁽¹⁷⁾ 国内基準による

⁽¹⁸⁾ 連結範囲調整後の比較可能ベース (Abanca SG を除く) では、損害保険が 7.7%増、個人保障が 5.8%増

⁽¹⁹⁾ 連結範囲はフランス内外の損害保険で、連結範囲調整後の比較可能ベース (Abanca SG を除く) では、損害保険ポートフォリオが 2.8%増

⁽²⁰⁾ 割引を含め、割戻を除いた再保険料控除後のフランスの損害保険 (Pacifica) のコンバインドレシオは、総経過保険料に対する (保険金+営業費用+手数料収入)。割引の効果を除いたコンバインドレシオは 97.6% (前年比-0.1 パーセント・ポイント)

⁽²¹⁾ 中長期

ウェルス・マネジメントでは、総運用資産（CA インドスエズ・ウェルス・マネジメントと LCL プライベート・バンキング）は 2025 年 9 月末現在で 2,900 億ユーロとなり、2024 年 9 月末から 5.9%増加し、2025 年 6 月末から 4.3%増加しました。

インドスエズ・ウェルス・マネジメントの 9 月末の運用資産は 2025 年 6 月末から 5.4%増加して 2,260 億ユーロ⁽²²⁾ となり、純流入額は+16 億ユーロとなりました。当四半期の市場及び為替変動の影響は 67 億ユーロのプラスとなりました。最後に、運用資産は Thaler Bank の統合の恩恵を受け、33 億ユーロ増加しました。運用資産は、2024 年 9 月末と比べて 170 億ユーロ（7.9%）増加しました。

アセット・ギャザリング部門の業績

2025 年度第 3 四半期のアセット・ギャザリング部門の収益は 18 億 6,600 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 0.2%減と安定的でした。費用は 2024 年度第 3 四半期と比べて 11.6%増の 9 億 6,900 万ユーロ、営業総利益は同 10.4%減の 8 億 9,700 万ユーロとなりました。2025 年度第 3 四半期のコスト比率は、前年同期比で 5.5 パーセント・ポイント上昇し、51.9%となりました。持分法適用会社は、3,300 万ユーロ（1,600 万ユーロの統合費用を除く）の Victory Capital の寄与などにより、57.6%増の 5,200 万ユーロ寄与しました。その結果、2025 年度第 3 四半期の税引前利益は 7.8%減少し、9 億 4,000 万ユーロとなりました。純利益グループ帰属分は 9.3%減の 6 億 6,000 万ユーロとなりました。

2025 年 9 ヶ月累計期間のアセット・ギャザリング部門の収益は 58 億 9,400 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間から 5.2%増加しました。費用は 13.7%増加しました。その結果、コスト比率は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 3.5 パーセント・ポイント上昇し、47.0%となりました。営業総利益は 31 億 2,600 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 1.3%減少しました。持分法適用会社の寄与は 45.7%増の 1 億 3,700 万ユーロとなりました。これは、特に 2025 年度第 2 四半期の資産運用部門における Victory Capital の 26%の寄与に関連しています。その他の資産に関する純利益は、2025 年度第 2 四半期に認識された Victory Capital とのパートナーシップに関連する 4 億 5,300 万ユーロのキャピタルゲインの計上による影響を受けています。税金は 20.5%増加して 7 億 9,400 万ユーロとなりました。アセット・ギャザリング部門の純利益グループ帰属分はフランスの法人税の追加課徴金を含めると、2024 年 9 ヶ月累計期間に比べて 11.9%増加し（アセット・マネジメントが 36.4%増、保険が 0.4%減、ウェルス・マネジメントが 42.0%増）、22 億 4,000 万ユーロとなりました。

2025 年度第 3 四半期、アセット・ギャザリング部門はクレディ・アグリコル S.A.の主力事業（コーポレート・センター部門を除く）の純利益グループ帰属分の 40%に寄与し、収益の 28%に寄与しました。

2025 年 9 月 30 日現在で同部門に配分された自己資本は 139 億ユーロで、この内訳は、保険が 112 億ユーロ、資産運用が 19 億ユーロ、ウェルス・マネジメントが 8 億ユーロでした。同部門のリスク・ウェイト資産は 536 億ユーロで、この内訳は、保険が 253 億ユーロ、資産運用が 202 億ユーロ、ウェルス・マネジメントが 81 億ユーロでした。

保険事業の業績

2025 年度第 3 四半期の保険事業の収益は 6 億 7,500 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期に比べて 6.3%増加しました。収益は資金流入及び残高の増加に関連して、貯蓄・退職金に支えられましたが、損害保険は今四半期、債権者セグメントにおける保険金請求の増加（悪天候と火災）と技術的利鞘の縮小の影響を受けました。当四半期の保険事業の収益の内訳は、貯蓄・退職金保険及び葬儀保険が 4 億 9,500 万ユーロ⁽²³⁾、個人保障が 8,500 万ユーロ⁽²⁴⁾、損害保険が 9,100 万ユーロ⁽²⁵⁾ でした。

⁽²²⁾ 機関投資家顧客のカストディー資産を除く

⁽²³⁾ 契約上のサービスマージン（CSM）、損失項目及びリスク調整（RA）の配分額や再保険を除いた営業差異など

⁽²⁴⁾ CSM、損失項目及び RA の配分額や再保険を除いた営業差異など

⁽²⁵⁾ 再保険費用控除後（業績を含む）

2025 年 9 月末時点の契約上のサービスマージン（CSM）は合計で 273 億ユーロとなり、2024 年 12 月末に比べて 8.3%増加しました。CSM の配分を上回る新規事業の寄与と、プラスの市場効果による恩恵を受けました。

当四半期の帰属不能の費用は 1 億 300 万ユーロで、2024 年度第 3 四半期から 21.0%増加しました。その結果、**営業総利益**は 5 億 7,200 万ユーロとなり、前年同期比で 4.0%増加しました。**税引前純利益**は 4.0%増の 5 億 7,200 万ユーロとなりました。税金費用は 1 億 700 万ユーロで、ベース効果（2024 年第 3 四半期の株式持分の売却に関する軽減税率での取引と時価による有価証券の再評価）により、前年同期比で 5,600 万ユーロ増加しました。**純利益グループ帰属分**は、2024 年度第 3 四半期と比べて 2.7%減の 4 億 6,500 万ユーロでした。

2025 年 9 ヶ月累計期間の保険事業からの収益は 21 億 9,200 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 2.9%増加しました。非帰属費用は 2 億 8,500 万ユーロ（8.1%増）となりました。営業総利益は 19 億 700 万ユーロとなりました（2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 2.2%増）。その結果、コスト比率は 13.0%となり、中期計画で設定されている目標上限の 15%を下回りました。純利益グループ帰属分は、2024 年 9 ヶ月累計期間比で 0.4%減の 14 億 6,100 万ユーロと安定的でした。

保険事業は、2025 年 9 月末時点におけるクレディ・アグリコル S.A.の事業部門（コーポレート・センター部門を除く）の純利益グループ帰属分の 24%に寄与し、（コーポレート・センター部門を除いた）収益の 10%に寄与しています。

資産運用の業績

2025 年度第 3 四半期の**収益**は 7 億 9,700 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期に比べて 4.9%減少しました。アムンディ US の連結除外⁽²⁶⁾の調整後では、収益は 2024 年度第 3 四半期と比べて 5.8%増加しています。純運用報酬・手数料収入は、2024 年度第 3 四半期と比べて 3.3%増加しました（連結範囲変更の影響を除く）。アムンディ・テクノロジーの収益は、2024 年度第 3 四半期と比べて 49%増と大幅な増加となりました。この増収は、Aixigo（2024 年 11 月に買収が完了したウェルス・テックの欧州大手）の統合により、継続的な力強い内部成長が加速したことによるものです。成功報酬・手数料収入は良好な市況が原動力となり、2024 年度第 3 四半期と比べて 76.6%増加しました（連結範囲変更の影響を除く）。**営業費用**は、再編に関する 8,000 万ユーロの引当金と従業員に関して実施された増資（2024 年度第 4 四半期に計上）に伴う 1,700 万ユーロのベース効果の影響により、2024 年度第 3 四半期比 13.8%増の 5 億 3,000 万ユーロとなりました。上記の項目と Victory Capital⁽²⁶⁾を除くと、営業費用は当期に 4.8%増加しています。コスト比率は 2024 年度第 3 四半期に比べて 10.9 パーセント・ポイント上昇し、66.5%となりました。再編費用と従業員に関する増資時期の遅れを除けば、コスト比率は 54.2%でした。**営業総利益**は 2 億 6,700 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 28.2%減少しました。**持分法適用会社**の寄与は、アムンディのアジアのジョイントベンチャーからの寄与に加え、Victory Capital からの新規寄与により、5,200 万ユーロとなりました。このうち、統合費用（2025 年度第 3 四半期に 1,600 万ユーロ）を除いた Victory Capital からの寄与は 3,300 万ユーロで、当該寄与は 1 四半期分の補正を加えて計上されており、アジアのジョイントベンチャーの寄与は、インドルピーの下落（10%減）にもかかわらず、2024 年度第 3 四半期と比べて 3.0%増加しました。その結果、税引前利益は 3 億 1,700 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期から 21.3%減少しました。非支配持分は当期、8,100 万ユーロとなりました。純利益グループ帰属分は、2024 年度第 3 四半期と比べて 23%減の 1 億 6,000 万ユーロでした。

2025 年 9 ヶ月累計期間の収益は 24 億 6,000 万ユーロ（1.8%減）でした。Victory Capital とのパートナーシップに関連する連結範囲変更の影響を除くと、当期の収益の伸び率は 5.5%でした。営業費用は 5.1%増加しましたが、これは再編に関する 8,000 万ユーロの引当金と従業員に関して実施された増資（2024 年度第 4 四半期に計上）に伴う 1,700 万ユーロのベース効果が影響しました。Victory Capital とのパートナーシップに関連する連結範囲変更の影響と再編費用を除くと、当期の収益の伸び率は 7.3%でした。コスト比率は 2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 3.9 パーセント・ポイント増加し、59.2%（Victory US と再編費用を除くと 55.9%）となりました。この結果、営業総利益は 2024 年 9 ヶ月累計期間から 10.3%減少しました。持分法適用会社からの利益は、2025 年度第 2 四半期以降、Victory Capital の寄与分を組み入れていることなどを反映して 45.7%増加しました。**その他の資産に関する純利益**は、2025 年度第 2 四半期の Victory Capital とのパートナーシップに関連す

⁽²⁶⁾ 2024 年度第 3 四半期のアムンディ US の連結除外に伴う連結範囲変更の影響：収益が 8,500 万ユーロ、費用が 5,300 万ユーロ。

る 4 億 5,300 万ユーロの非貨幣性キャピタルゲインの計上による影響を受けました。2025 年 9 ヶ月累計期間の純利益グループ帰属分は、フランスの法人税の追加課徴金を含め、合計で 36.4%増の 8 億 5,000 万ユーロとなりました。

資産運用は、2025 年 9 月末におけるクレディ・アグリコル S.A.の主力事業（コーポレート・センター部門を除く）の基礎純利益グループ帰属分の 14%に寄与し、基礎収益の 12%に寄与しました。

ウェルス・マネジメントの業績⁽²⁷⁾

2025 年度第 3 四半期のウェルス・マネジメントの収益は、手数料収入の増加（前年同期比 8%増）と堅調な純利鞘が寄与しましたが、Degroof-Petercam の統合措置（特にカストディ業務の CACEIS への譲渡や CACIB との市場活動の再編）の影響も受け、2024 年度第 3 四半期比 0.7%減の 3 億 9,400 万ユーロと安定的になりました。上記項目を除いた収益は、2.9%（前年同期比）増加しました。当四半期の費用は、2025 年第 3 四半期の統合費用 2,250 万ユーロ⁽²⁸⁾と CACEIS に関連する部分についての Degroof Petercam の統合措置などの影響により、2024 年度第 3 四半期比 6.0%増の 3 億 3,600 万ユーロとなりました。これらの影響を除くと、費用は 2024 年度第 3 四半期と比べて 2.1%増加しました。2025 年度第 3 四半期のコスト比率は、前年同期比で 5.4 パーセント・ポイント上昇し、85.3%となりました。Degroof Petercam の統合項目（統合費用、CACEIS、及びクレディ・アグリコル CIB の影響）を修正再表示したコスト比率は 77.3%となりました。営業総利益は 5,800 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 27.2%減少しました。リスク関連費用は当四半期、700 万ユーロと抑制されました。純利益グループ帰属分は、2024 年度第 3 四半期比で 16.7%減の 3,500 万ユーロとなりました。

2025 年 9 ヶ月累計期間には、ウェルス・マネジメントの収益は、特に 2024 年 6 月の Degroof Petercam の統合⁽²⁹⁾が寄与し、2024 年 9 ヶ月累計期間に比べて 28.4%増加し、12 億 4,200 万ユーロに達しました。費用は、2024 年 6 月に実施された Degroof Petercam の統合⁽²⁹⁾及び統合費用⁽²⁸⁾の影響などにより 30.7%増加しました。その結果、営業総利益は 18.3%増の 2 億 1,400 万ユーロとなりました。2025 年 9 ヶ月累計期間には、信用リスク関連費用は 47.6%増加し、その他の資産に関する純利益はゼロ（2024 年 9 ヶ月累計期間はマイナス 2,300 万ユーロ）で、これは Degroof Petercam の買収費用に相当します。2025 年 9 ヶ月累計期間の純利益グループ帰属分は 1 億 2,900 万ユーロで、2024 年 9 ヶ月累計期間から 42.0%増加しました。

ウェルス・マネジメントは、2025 年 9 月末時点におけるクレディ・アグリコル S.A.の中核事業（コーポレート・センター部門を除く）の純利益グループ帰属分の 2%に寄与し、（コーポレート・センター部門を除いた）収益の 6%に寄与しています。

大口顧客部門の活動

2025 年度第 3 四半期には、法人営業及び投資銀行部門（CIB）の高水準の業績と資産運用サービス部門の活発な事業活動により、大口顧客部門の事業活動は良好でした。

2025 年度第 3 四半期の法人営業及び投資銀行部門の収益は 15 億 8,200 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期比で 3.3%増加しました。資本市場及び投資銀行業務は、2024 年度第 3 四半期比 4.0%増（為替の影響を除くと 5.9%増）の 7 億 5,200 万ユーロとなりました。債券及びリニア為替業務ならびにプライマリー・クレジット業務を原動力とする資本市場業務の好業績（FICC（債券、為替、コモディティ）は 2024 年度第 3 四半期比 6.3%増）に支えられましたが、投資銀行業務は M&A の好業績にもかかわらず、模様眺めの市場のなかでストラクチャード・エクイティ業務が低迷し、落ち込みました（2024 年度第 3 四半期比 6%減）。ファイナンス業務の収益は、ストラクチャード・ファイナンスの業績（2024 年度第 3 四半期比 9.6%増）と再生可能エネルギー分野の継続的な成長（風力・太陽光プロジェクトに関する組成の増加）が原動力となり、2024 年度第 3 四半期比 2.7%増（為替の影響を除くと 5.8%増）の 8 億 3,000 万ユーロとなりました。商業銀行業務は買収ファイナンスが好調で、安定的に推移しました（2024 年度第 3 四半期比 0.8%減）。

⁽²⁷⁾ インドスエズ・ウェルス・マネジメントの連結範囲

⁽²⁸⁾ 2025 年度第 3 四半期の統合費用は 2,250 万ユーロ、これに対して 2024 年度第 3 四半期は 820 万ユーロ（2025 年 9 ヶ月累計期間は 5,760 万ユーロ、これに対して 2024 年 9 ヶ月累計期間は 1,360 万ユーロ）

⁽²⁹⁾ 2025 年の Degroof Petercam の連結範囲変更の影響：2025 年 1 月~5 月：収益が 2 億 6,080 万ユーロ、費用が 1 億 8,640 万ユーロ

クレディ・アグリコル CIB は、ユーロ建てグリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナブルボンドで第 1 位⁽³⁰⁾、世界全体のすべてのユーロ建債で第 4 位⁽³⁰⁾ となり、シンジケート・ローンにおける主導的地位（フランスで第 1 位⁽³¹⁾、EMEA で第 2 位⁽³¹⁾）を確認しました。2025 年度第 3 四半期の規制上の VaR の平均は 1,270 万ユーロで、ポジションと金融市場の変動を反映して、2025 年度第 2 四半期の 1,110 万ユーロから増加しました。慎重なリスク管理を反映した水準で推移しました。

資産運用サービス事業に関しては、新規顧客の獲得とプラスの市場効果が事業成長を後押ししました。

カストディ資産は 2025 年 9 月末時点で、2025 年 6 月末比 3.2%増、2024 年 9 月末比 12.6%増の 5 兆 7,010 億ユーロとなりました。管理資産は 2025 年 9 月末時点で、今四半期 3.0%増加し、前年比では 5.5%増加して、3 兆 5,730 億ユーロとなりました。受渡決済金額は、フランスとルクセンブルクなどが原動力となり、2024 年度第 3 四半期比で 24%増と急増しました。

2025 年 7 月 4 日、クレディ・アグリコル S.A.は、サンタンデールが保有する CACEIS の持分 30.5%の取得を完了したことを発表しました。

大口顧客部門の業績

2025 年度第 3 四半期には、法人営業及び投資銀行部門の過去最高収益と資産運用サービス部門の高収益により、大口顧客部門の収益は 20 億 9,900 万ユーロと過去最高水準に達し、2024 年度第 3 四半期比で 2.2%増加しました。

営業費用は、2024 年度第 3 四半期比で 0.5%増とわずかながら増加しました。これは法人営業及び投資銀行部門での為替の悪影響のなかでの抑制された増加によるもので、ISB の統合費用の減少⁽³²⁾に伴う資産運用サービス部門での減少により一部相殺されています。その結果、同部門の営業総利益は 8 億 5,300 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 4.8%増加しました。リスク関連費用は 3,700 万ユーロ増と限定的でした。これに対して 2024 年度第 3 四半期は 1,900 万ユーロ増でした。税引前利益は 8 億 2,200 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 2.8%増加しました。2025 年度第 3 四半期の税金費用は 2 億 6,900 万ユーロでした。最後に、2025 年度第 3 四半期の純利益グループ帰属分は 2024 年度第 3 四半期比 19.6%増の 6 億 2,200 万ユーロになりました。これは、サンタンデールの保有する CACEIS の非支配持分についての 2025 年 7 月 4 日の CASA の取得に関連して、当四半期の非支配持分 7,900 万ユーロを考慮しています。

2025 年 9 ヶ月累計期間の大口顧客部門の収益は 2024 年 9 ヶ月累計期間比 2.9%増の 67 億 3,100 万ユーロとなり、過去最高となりました。営業費用は、主に人件費と IT 投資の増加に伴い、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 3.2%増の 38 億 6,200 万ユーロとなりました。2025 年 9 ヶ月累計期間の営業総利益は 28 億 6,800 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間に比べて 2.4%の増益となりました。2025 年 9 ヶ月累計期間のリスク関連費用は、2024 年 9 ヶ月累計期間（2,500 万ユーロの純増）から増加し、3,200 万ユーロの純増となりました。その結果、当部門の純利益グループ帰属分への寄与は 20 億 9,700 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 8.3%増となりました。

同部門は、2025 年 9 月末時点におけるクレディ・アグリコル S.A.の中核事業（コーポレート・センター部門を除く）の純利益グループ帰属分の 34%に寄与し、またコーポレート・センター部門を除いた収益の 32%に寄与しています。

2025 年 9 月 30 日現在、同部門に配分された資本は 131 億ユーロで、リスク・ウェイト資産は 1,377 億ユーロでした。

⁽³⁰⁾ Bloomberg（ユーロ建て）

⁽³¹⁾ Refinitiv LSEG

⁽³²⁾ ISB 統合費用：2025 年第 3 四半期は 730 万ユーロ、これに対して 2024 年度第 3 四半期は 2,600 万ユーロ

法人営業及び投資銀行部門の業績

2025 年度第 3 四半期の法人営業及び投資銀行部門の収益は、ベースの高い 2024 年度第 3 四半期に比べて 3.3%増（為替の影響を除くと 5.8%増）の 15 億 8,200 万ユーロとなり、過去最高を記録しました。

営業費用はプラスの為替効果の恩恵により、2.6%増と抑制されて 8 億 8,700 万ユーロとなり、乖離効果は 0.7 パーセント・ポイントのプラスとなりました。**営業総利益**は、2024 年度第 3 四半期と比べて 4.3%増の 6 億 9,600 万ユーロとなりました。コスト比率は 56.0%となり、前四半期比 0.4 パーセント・ポイント減となりました。**リスク関連費用**はステージ 2 からステージ 3 への振替を含め、低水準となり、2,900 万ユーロ増となりました。これにより、2025 年度第 3 四半期の**税引前利益**は 2024 年度第 3 四半期比 2.0%増の 6 億 6,600 万ユーロとなりました。最終的に、2025 年度第 3 四半期の**純利益グループ帰属分**は 4.7%減の 4 億 2,500 万ユーロとなりました。

2025 年 9 ヶ月累計期間の収益は 2024 年 9 月累計期間から 3.6%増の 51 億 7,400 万ユーロとなり、**9 ヶ月累計期間で過去最高**となりました。**営業費用**は 5.6%増となりました。これは主に変動報酬と事業部門の発展を支援するための IT 投資によるものでした。**営業総利益**は 24 億ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間比で 1.3%増加しました。2025 年 9 ヶ月累計期間の**リスク関連費用**は、2,500 万ユーロの純増となりました。これに対して、2024 年 9 ヶ月累計期間は 700 万ユーロ増でした。税金費用は 0.5%減の 6 億 700 万ユーロでした。最後に、2025 年度 9 ヶ月累計期間の**純利益グループ帰属分**は同期間中に 1.0%増加し、17 億 3,200 万ユーロとなりました。

資産運用サービスの業績

2025 年度第 3 四半期の資産運用サービスの**収益**は、Degroof Petercam の預託銀行業務の買収に伴うプラスの連結範囲変更の影響と純利鞘の増加にもかかわらず、予定されていた旧 RBC の顧客の退出により、2024 年度第 3 四半期比 1.2%減とわずかながら減少し、5 億 1,600 万ユーロとなりました。**営業費用**は 2024 年度第 3 四半期と比べて ISB の統合費用が減少したことで、前年同期比 4.5%減の 3 億 5,900 万ユーロとなりました⁽³³⁾。その結果、2025 年度第 3 四半期の**営業総利益**は 7.1%増加し 1 億 5,700 万ユーロとなりました。2025 年度第 3 四半期の**コスト比率**は、前年同期比で 2.4 パーセント・ポイント低下し、69.5%となりました。2025 年度第 3 四半期の**税引前利益**は 6.0%増加し、1 億 5,600 万ユーロとなりました。**純利益グループ帰属分**は、2025 年上半期に認識されたサンタンデールの CACEIS の非支配持分の消却による 7,900 万ユーロを含め、2025 年度第 3 四半期に急増しました（2024 年度第 3 四半期比で 2.7 倍に増加）。

2025 年 9 ヶ月累計期間の収益は、予定されていた旧 RBC の顧客の退出にもかかわらず、好調な商業的モメンタム、今期の利鞘の上昇傾向、Degroof Petercam の預託銀行業務の買収に伴うプラスの連結範囲変更の影響により、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 0.6%増加しました。**営業費用**は、2.4%減となり、ISB の事業買収に関連する 2,090 万ユーロの統合費用（2024 年 9 ヶ月累計期間の統合費用は 7,000 万ユーロ）が含まれます。**営業総利益**は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 8.3%増加しました。**コスト比率**は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 2.1 パーセント・ポイント低下し、69.9%となりました。

2025 年 9 ヶ月累計期間の**純利益グループ帰属分**に対する同部門全体の寄与は、サンタンデールが保有する CACEIS の非支配持分の消却の恩恵で、3 億 6,500 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 64.9%増加しました。

⁽³³⁾ ISB 統合費用：2025 年第 3 四半期は 730 万ユーロ、これに対して 2024 年度第 3 四半期は 2,600 万ユーロ

専門金融サービス部門の活動

クレディ・アグリコル・パーソナル・ファイナンス&モビリティーズ (CAPFM) の商業組成は 2025 年度第 3 四半期に合計 120 億ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期比で 3.7%増加しました。増加は、市場の健全化により、従来型の消費者金融と、中国において 2025 年度第 2 四半期比で著しく好転した自動車事業が原動力となりました。四半期の新規組成件数に占める自動車ローン⁽³⁴⁾の割合は 50.1%でした。組成の平均顧客向け金利は 2025 年度第 2 四半期から 12 ベーシス・ポイント低下と、小幅に低下しました⁽³⁵⁾。CAPFM の 2025 年 9 月末時点の運用資産残高は、全連結範囲で 1,220 億ユーロとなり、2024 年 9 月末と比べて 4.5%の増加となりました（自動車事業が 6.4%増⁽³⁶⁾、LCL・地域銀行が 4.4%増、その他が 2.5%増）。地域銀行による運用ポートフォリオの拡大や、Leasys や Drivalia によるレンタカー事業の進展が寄与しました。最後に、2025 年 9 月末時点の連結残高は合計 680 億ユーロで、2024 年 9 月末から 1.3%減少しました。

クレディ・アグリコル・リーシング&ファクタリング (CAL&F) の商業組成は、再生可能エネルギーが原動力となり、フランスを中心として、リースに関しては 2024 年度第 3 四半期から 9.8%増加しました。フランス国外でも組成はすべての事業体で増加しました。2025 年 9 月末時点のリース残高は、フランス国内と国外で前年比 4.3%増（フランス国内が 3.5%増、国外 7.4%増）の 209 億ユーロ（うちフランス国内が 164 億ユーロ、国外 45 億ユーロ）となりました。ファクタリングの商業組成は、フランス国内とドイツを中心に国外で 2024 年度第 3 四半期比 37%減（フランス国内が 39%減、国外 35%減）となりました。2025 年 9 月末のファクタリング残高は 2024 年 9 月末比で 11%増加し、ファクタリング収益は前年同期比 8.7%増加しました。

専門金融サービス部門の業績

専門金融サービス部門の 2025 年度第 3 四半期の収益は 8 億 8,300 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期比で 1.6%増加しました。費用は 4 億 4,700 万ユーロで、2024 年度第 3 四半期と比べて 2.4%増加しました。コスト比率は、2024 年度第 3 四半期と比べて 0.4 パーセント・ポイント増とわずかながら上昇し、50.6%となりました。その結果、営業総利益は 4 億 3,600 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 0.8%増加しました。リスク関連費用は 2 億 7,800 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 24.7%増加しました。持分法適用会社の利益はマイナス 900 万ユーロとなり、リマーケティング収益の減少、Leasys での競争市場の影響、ならびに 2024 年度及び 2025 年度上半期の中国事業の悪化のあった CAPFM を中心に、2,300 万ユーロであった 2024 年度第 3 四半期に比べて大幅に減少しました。同部門の税引前利益は 1 億 5,000 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 35%減少しました。純利益グループ帰属分は 9,700 万ユーロとなり、2024 年第 3 四半期比で 43%減少しました。

2025 年 9 ヶ月累計期間の専門金融サービス部門の収益は 26 億 3,200 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間から 1.0%増加しました。営業費用は 2024 年 9 ヶ月累計期間から 1.9%増加し、13 億 5,900 万ユーロとなりました。営業総利益は 12 億 7,300 万ユーロで、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて安定的に推移（0.1%増加）しています。コスト比率は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 0.5 パーセント・ポイント上昇し、51.6%となりました。リスク関連費用は 2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 16.8%増加し、7 億 6,200 万ユーロとなりました。持分法適用会社の寄与は 2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 83%減少しました。主な要因となったのは、CAPFM のリマーケティング収益の減少及び中国事業の悪化と CAL&F ののれんの償却（2025 年度第 2 四半期）です。純利益グループ帰属分はフランスの法人所得税の追加課徴金を含めると、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 28.2%減少し、3 億 6,000 万ユーロとなりました。

同部門は、2025 年 9 月末時点におけるクレディ・アグリコル S.A.の中核事業（コーポレート・センター部門を除く）の純利益グループ帰属分の 6%に寄与し、またコーポレート・センター部門を除いた収益の 12%に寄与しています。

2025 年 9 月 30 日現在、同部門に配分された資本は 77 億ユーロで、リスク・ウェイト資産は 807 億ユーロでした。

⁽³⁴⁾ CA オートバンク、自動車関連のジョイント・ベンチャー、その他の事業体の自動車事業

⁽³⁵⁾ 自動車関連のジョイント・ベンチャーを除く

⁽³⁶⁾ CA オートバンクと自動車関連のジョイント・ベンチャー

消費者金融及びモビリティの業績

2025 年度第 3 四半期の CAPFM の収益は合計 6 億 9,500 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期から 2.5%増加しました。これは、組成のマージン率の改善（2024 年度第 3 四半期と比べて 12 ベーシス・ポイント増⁽³⁵⁾）。2025 年度第 2 四半期からは 9 ベーシス・ポイント減⁽³⁵⁾）に伴うプラスの価格効果によるもので、保険事業の減収を補いました。**費用**は合計 3 億 4,400 万ユーロで 1.8%増となり、乖離効果は前期比で 0.7 パーセント・ポイントのプラスとなりました。その結果、**営業総利益**は 3 億 5,100 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 3.2%増加しました。**コスト比率**は、2024 年度第 3 四半期と比べて 0.3 パーセント・ポイント上昇し、49.5%となりました。**リスク関連費用**は 2024 年度第 3 四半期比 25.4%増の 2 億 5,200 万ユーロとなりました。これにより、**残高に対するリスク関連費用**は、2,000 万ユーロの訴訟費用（英国の自動車ローン）の引当金の追加を含め、2025 年度第 2 四半期比で 7 ベーシス・ポイント増と悪化し、142 ベーシス・ポイント⁽³⁷⁾となりました。この例外的な引当を除くと、リスク関連費用は国際事業を中心にわずかながら減少しました。2025 年 9 月末時点の不良債権比率は 4.7%となり、2025 年 6 月末から 0.1 パーセント・ポイント小幅上昇しましたが、不良債権引当率は 72.2%となり、2025 年 6 月末から 1 パーセント・ポイント低下しました。**持分法適用会社の利益**は、リマーケティング収益の減少、Leasys の市場の厳しい競争、ならびに 2024 年度及び 2025 年度上半期の中国事業の悪化などにより、700 万ユーロ減少しました。**税引前利益**は 9,100 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期比で 43.6%減少しました。**純利益グループ帰属分**は 5,500 万ユーロとなり、前年比で 53.1%減少しました。

2025 年 9 ヶ月累計期間の CAPFM の収益は 20 億 7,500 万ユーロに達し、2024 年 9 ヶ月累計期間に比べて 1.6%の増加となりました。これは、プラスの数量及び価格効果から恩恵を受けましたが、劣後債の増加と保険事業の減収により一部相殺されました。**費用**は 10 億 5,300 万ユーロで、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 1.7%増加しました。**営業総利益**は 1.5%増の 10 億 2,200 万ユーロとなりました。**コスト比率**は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 0.1 パーセント・ポイント上昇し、50.8%となりました。**リスク関連費用**は、海外子会社の業績がわずかに悪化したこと、また 2,000 万ユーロの訴訟引当（英国の自動車ローン）を例外的に含めたことなどにより、2024 年 9 ヶ月累計期間から 19.4%増加して 7 億 500 万ユーロとなりました。**持分法適用会社の寄与**は、リマーケティング収益の減少、Leasys の市場の厳しい競争、ならびに 2024 年度及び 2025 年度上半期の中国事業の悪化などにより、2024 年 9 ヶ月累計期間に比べて 55.2%減少しました。その結果、**純利益グループ帰属分**は、フランスの法人所得税の追加課徴金を含めると、2024 年 9 ヶ月累計期間から 30.3%減少し、2 億 4,300 万ユーロとなりました。

リースとファクタリングの実績

2025 年度第 3 四半期の CAL&F の収益は合計 1 億 8,900 万ユーロとなり、ファクタリングのマージンの低下（金利低下に関連）により 2024 年度第 3 四半期から 1.6%減少しました。リースの収益は増加しました。**営業費用**は 1 億 300 万ユーロとなり、前期比で 4.4%増加しました。また、**コスト比率**は 54.8%となり、2024 年度第 3 四半期と比べて 3.1 パーセント・ポイント上昇しました。**営業総利益**は 8,500 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 8.0%減少しました。**リスク関連費用**は合計 2,600 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 18.1%増加しました。**残高に対するリスク関連費用の比率**は、2024 年度第 3 四半期比で 1 ベーシス・ポイント上昇し、22 ベーシス・ポイント⁽³⁷⁾となりました。2025 年度第 3 四半期の**持分法適用会社の利益**は合計マイナス 100 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期から 200 万ユーロ減少しました。税引前利益は 5,900 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期比で 14.9%減少しました。**純利益グループ帰属分**はフランスの法人所得税の追加課徴金を含めると、前年同期比で 22.4%減少し、4,200 万ユーロとなりました。

2025 年 9 ヶ月累計期間の収益は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 0.9%減の 5 億 5,700 万ユーロと安定して推移し、リースの増加分が金利低下によるファクタリングのマージンの減少で吸収されました。**営業費用**は 2.7%増の 3 億 600 万ユーロとなりました。**営業総利益**は 2024 年 9 ヶ月累計期間から 5.1%減少し、2 億 5,100 万ユーロとなりました。その結果、**コスト比率**は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 2.0 パーセント・ポイント上昇し、54.9%となりました。**リスク関連費用**は 2024 年 9 ヶ月累計期間から減少（7.4%減）しましたが、これは 2025 年度第 2 四半期に 2,000 万ユーロの正常債権に対する貸倒引当金の戻入があったことによるものです。

⁽³⁷⁾ 過去 4 四半期の期首の平均残高に対する直近 4 四半期のリスク関連費用の割合。

2025 年 9 ヶ月累計期間の持分法適用会社の寄与はマイナス 2,600 万ユーロとなり、2025 年 9 ヶ月累計期間ののれんの償却により、2024 年 9 ヶ月累計期間のマイナス 500 万ユーロから大幅に減少しました。最後に、**純利益グループ帰属分**は、フランスの法人所得税の追加課徴金を含めると、2024 年 9 ヶ月累計期間から 23.5%減少し、1 億 1,700 万ユーロとなりました。

クレディ・アグリコル S.A. リテール・バンキング部門の活動

当四半期中、クレディ・アグリコル S.A. のリテール・バンキング部門のローン組成は、フランスでは勢いが継続し、イタリアでは企業が原動力となり、非常に競争的な住宅市場のなか、わずかながら増加しました。保険加入者のクロスセル・レートは伸びています。

フランスのリテール・バンキング部門の活動

2025 年度第 3 四半期には、2024 年度第 3 四半期と比べて専門市場をはじめとしてローン組成が増加し、資金流入が増加するなど、事業活動に勢いがありました。顧客獲得は大幅に伸び、当四半期の新規顧客は 68,000 人になりました。

自動車保険、マルチリスク住宅保険、健康保険、法的保険、すべての携帯電話保険または傷害保険におけるクロスセル・レートは、前年同期比で 0.7 パーセント・ポイント上昇し、2025 年 9 月末には 28.6%になりました。

ローン組成は前年同期比 10%増の総額 83 億ユーロとなりました。2025 年度第 3 四半期のローン組成の増加は、専門市場が原動力となりました（法人向けが 2024 年度第 3 四半期比 20%増、専門家向けが同 24%増）。住宅ローンは前年同期比で安定的に推移し（1%増）、累計では 2025 年 9 月末時点で、2024 年 9 月末時点と比べて 18%増加しました。住宅ローンの平均組成率は 2.98%で、2025 年度第 2 四半期から 9 ベーシス・ポイント低下し、2024 年度第 3 四半期比では 40 ベーシス・ポイント低下しました。住宅ローンの残高率は前期比で 3 ベーシス・ポイント、前年比で 16 ベーシス・ポイント改善しました。消費者金融の組成は当期、安定的に推移しました。

2025 年 9 月末時点の貸付残高は 1,729 億ユーロで、前期比 0.8%増、前年同期比 2.4%増（うち住宅ローン 1.9%増、中小企業向け 2.4%増、法人向け 5.5%増）となりました。2025 年 9 月末時点の顧客資産は総額 2,572 億ユーロで、前年同期比 1.5%の増加となりました。これは、オン・バランスシートの預金の微減及びオフ・バランスシートの資金によるものです。オン・バランスシートの預金は当四半期、要求払預金が 0.4%増加した一方、定期預金が 4.3%減少し、2025 年 6 月末と比べて 1.1%減少しました。オフ・バランスシートの預金は、すべてのセグメントでの前年同期比及び前期比でのプラスの市場効果と、生命保険事業でのプラスの純資金流入から恩恵を受けました。

イタリアのリテール・バンキング部門の活動

2025 年度第 3 四半期、CA イタリアの総顧客獲得数は 47,000 人となりました。

CA イタリアの 2025 年 9 月末の貸出残高は、残高が 2.3%増加したリテール市場を原動力として、回復の進むイタリア市場⁽³⁹⁾では 621 億ユーロ⁽³⁸⁾となり、2024 年 9 月末と比べて 1.3%増加しました。残存ローン金利は、2024 年度第 3 四半期から 103 ベーシス・ポイント低下しましたが、下げ幅は市場金利⁽⁴⁰⁾を下回りました。また、2025 年度第 2 四半期から 25 ベーシス・ポイント低下しました。

2025 年度第 3 四半期のローン組成は、法人向け市場が原動力となり（非常に競争の激しい住宅市場では利鞘を維持）、2024 年度第 3 四半期と比べて 0.5%増加しました。2025 年 9 ヶ月累計期間のローン組成は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 1.0%増加しました。

2025 年 9 月末の顧客資産は総額 1,213 億ユーロで、2024 年 9 月末から 3.3%増加しました。オン・バランスシートの預金は、プライベート・バンキングと個人が原動力となり、2024 年 9 月末から 1.3%増加しました。最後に、オフ・バランスシートの預金は前年同期比で 5.6%増加し、純資金流入とプラスの市場効果から恩恵を受けました。

自動車、マルチリスク住宅保険、健康保険、法的保険、すべての携帯電話保険及び傷害保険における CA イタリアのクロスセル・レートは 20.6%となり、2024 年度第 3 四半期と比べて 0.6 パーセント・ポイント上昇しました。

国際リテール・バンキング（イタリアを除く）の活動

イタリアを除く国際リテール・バンキングの 2025 年 9 月末時点の貸付残高は 75 億ユーロとなり、2024 年 9 月末時点と比較して、現在の為替レートで 2.9%増加しました（為替変動の影響を除くと 3.6%増）。顧客資産は 118 億ユーロとなり、現在の為替レートで前年同期比 6.5%増となりました（為替変動の影響を除くと 7.9%増）。

特にポーランドでは、貸付残高は 2024 年 9 月末比で 0.7%増加し（為替変動の影響を除くと 0.3%増）、オン・バランスシート預金は 4.0%増加しました（為替変動の影響を除くと 3.6%増）。ポーランドにおける今四半期のローン組成は 2024 年度第 3 四半期と比べて増加しました（現在の為替レートで 1.9%増、為替変動の影響を除くと 1.5%増）。また、ポーランドの顧客獲得総数は今四半期、5 万 6,000 人増となりました。

エジプトでは、すべての市場で商業活動が好調でした。貸付残高は 2024 年 9 月末から 2025 年 9 月末に 12.7%増加しました（為替変動の影響を除くと 17.7%増）。同期間のオン・バランスシートの預金は 22.1%増加し、為替変動の影響を除くと 27.5%増加しました。

流動性に関しては、2025 年 9 月 30 日現在、ポーランドとエジプトで融資を上回る預金が 20 億ユーロあり、ウクライナを含めると 34 億ユーロとなりました。

フランスのリテール・バンキングの業績

2025 年度第 3 四半期の LCL の収益は 9 億 8,200 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期から安定して推移しました。手数料収入の増加（2024 年度第 3 四半期比で 2.6%増）は、保険（生命保険及び非生命保険）の力強い勢いが原動力となりました。純利鞘は不利なベース効果の影響を除くと前年同期比で増加し、2025 年度第 2 四半期に比べて安定的に推移しました。ローン金利の見直しが進み、調達資金コストが低下した（顧客預金構成のプラスの変化から恩恵を受けた）ことが寄与しましたが、マクロ・ヘッジの寄与は減少しました。

費用は 4.9%増加し、IT 投資の拡大に関連して 6 億 3,800 万ユーロとなりました。コスト比率は、2024 年度第 3 四半期と比べて 2.8 パーセント・ポイント上昇し、64.9%となりました。その結果、営業総利益は 7.1%減少し、3 億 4,500 万ユーロとなりました。

⁽³⁹⁾ 出典：イタリア銀行協会（Abi）、2025 年 10 月：貸出全体では 9 月、前年同月比 1.8%増

⁽³⁸⁾ POCI 残高の控除後

⁽⁴⁰⁾ 3 か月物欧州銀行間取引金利（Euribor）は第 3 四半期、前年同期比 155 ベーシス・ポイント減

リスク関連費用は 2024 年度第 3 四半期比 12.3%増加し、9,200 万ユーロとなりました（内訳は、確認済みリスク関連費用が 8,600 万ユーロ、正常債権に対するリスク関連費用が 700 万ユーロ）。2025 年度第 2 四半期比では安定的でした。残高に対するリスク関連費用は 21 ベーシス・ポイントで安定的に推移し、専門家向け貸付市場に関しては依然高水準にあります。不良債権引当率は 2025 年 9 月末で 61.2%と、高水準を維持しています。2025 年 9 月末の不良債権比率は 2.1%でした。

最後に、税引前利益は 2 億 5,500 万ユーロで、2024 年度第 3 四半期と比べて 12.1%減少し、純利益グループ帰属分は 2024 年度第 3 四半期と比べて 17.3%減少しました。

2025 年 9 ヶ月累計期間の LCL の収益は合計 29 億 2,200 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間に比べて 0.3%増と安定的でした。純利鞘は減少（2.3%減）しました。ローン金利の段階的な見直しや資金調達コストの低下が寄与した一方、マクロ・ヘッジの影響はプラスにとどまったものの以前ほど有利ではなく、2024 年度第 2 四半期及び第 3 四半期には不利なベース効果もありました。手数料収入は 2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 3.1%増加し、特に保険事業で増加しました。費用は前期比 3.3%増加し、コスト比率は 63.7%に上昇しました（2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 1.8 パーセント・ポイント上昇）。営業総利益は 4.4%減少し、リスク関連費用は 5.9%減少しました。最後に、純利益グループ帰属分に対する当事業部門の寄与は、フランスの法人所得税の追加課徴金を含め、5 億 1,300 万ユーロ（2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 15.4%減）となりました。

当事業部門は最終的に、2025 年 9 月末時点におけるクレディ・アグリコル S.A.の中核事業（コーポレート・センター部門を除く）の純利益グループ帰属分の 8%に寄与し、またコーポレート・センター部門を除いた収益の 14%に寄与しています。

2025 年 9 月 30 日時点で、当事業部門に**配分された資本**は合計 54 億ユーロで、当事業部門の**リスク・ウェイト資産**は 567 億ユーロでした。

国際リテール・バンキングの業績⁽⁴¹⁾

2025 年度第 3 四半期には、国際リテール・バンキング部門の収益は合計 9 億 9,700 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期に比べて減少しました（現在の為替レートで 0.9%減、為替変動の影響を除くと 0.6%減）。**営業費用**は、クレディ・アグリコル・イタリアの非経常的項目⁽⁴²⁾を含め、5 億 400 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期に比べて 3.0%減少しました（為替変動の影響を除くと 2.7%減）。その結果、**営業総利益**は合計 4 億 9,300 万ユーロとなり、当四半期に 1.3%増加しました（為替変動の影響を除くと 1.8%増）。**リスク関連費用**は 7,600 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 28.6%増加しました（為替変動の影響を除くと 25.2%増）。2025 年度第 3 四半期の **CA イタリア、CA エジプト、CA ポーランド、CA ウクライナの全体の純利益グループ帰属分**は、ウクライナの法人所得税のプラスのベース効果⁽⁴³⁾に関連し、20.0%増と大幅に増加し（為替変動の影響を除くと 19.0%増）、2 億 3,200 万ユーロとなりました。

2025 年 9 ヶ月累計期間の国際リテール・バンキング部門の収益は 2.0%減の 30 億 3,000 万ユーロ（為替変動の影響を除くと 0.7%減）でした。**営業費用**は合計 15 億 3,900 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間から 2.6%減少（為替変動の影響を除くと 3.7%減）しました。2024 年度第 3 四半期に 5,800 万ユーロ計上された DGS への拠出が 2025 年に終了したこと、また 2025 年度第 3 四半期の非経常的項目⁽⁴²⁾から恩恵を受けました。**営業総利益**は合計 14 億 9,000 万ユーロとなり、1.3%減少しました（為替変動の影響を除くと 2.8%増）。**リスク関連費用**は 2 億 400 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 4.6%減少しました（為替変動の影響を除くと 5.3%減）。最終的に、**国際リテール・バンキング部門の純利益グループ帰属分**は、2024 年 9 ヶ月累計期間に比べて 5.6%増加し、7 億 1,600 万ユーロとなりました。とりわけ、2025 年度第 3 四半期のウクライナの法人所得税のプラスのベース効果⁽⁴⁴⁾が寄与しました。

2025 年 9 月 30 日現在、国際リテール・バンキング部門に**配分された資本**は 42 億ユーロで、**リスク・ウェイト資産**は合計 447 億ユーロでした。

⁽⁴¹⁾ 2025 年 9 月 30 日時点で、この範囲には CA イタリア、CA Polska、CA エジプト、CA ウクライナの事業体が含まれません。

⁽⁴²⁾ 2025 年度第 3 四半期のクレディ・アグリコル・イタリアの非経常的項目は 3,400 万ユーロ

⁽⁴³⁾ ウクライナの法人所得税率の変更に伴う、2024 年度第 3 四半期の約 4,000 万ユーロの影響

⁽⁴⁴⁾ ウクライナの法人所得税率の変更に伴う、2024 年度第 3 四半期の約 4,000 万ユーロの影響

イタリアの業績

2025 年度第 3 四半期には、クレディ・アグリコール・イタリアの収益は 7 億 5,900 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期から 0.7%減少しました。これは金利低下に関連した 2024 年度第 3 四半期比 4.0%減の純利鞘の減少によるものですが、運用資産の手数料収入の増加（2024 年度第 3 四半期比 10.5%増）により一部相殺されました。純利鞘はマイナス 0.7%で、2025 年度第 2 四半期比では概ね安定的でした。営業費用は非経常的項目⁽⁴⁵⁾を含め、3 億 8,300 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期に比べて 3.8%減少しました。

リスク関連費用は 2025 年度第 3 四半期に 5,700 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期比で 20.4%増加しました。残高に対するリスク関連費用⁽⁴⁶⁾は 6 ベーシス・ポイント改善して 38 ベーシス・ポイントとなり、資産の質（不良債権比率は 2.8%）と不良債権引当率（80.4%）は前四半期に比べて安定的で、高水準となりました。CA イタリアの純利益グループ帰属分は、2024 年度第 3 四半期比で 3.9%増の 1 億 7,000 万ユーロとなりました。

2025 年 9 ヶ月累計期間のクレディ・アグリコール・イタリアの収益は前年同期比 0.9%減の 23 億 300 万ユーロとなりました。営業費用は合計 11 億 6,400 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間から 4.5%減少しました。2024 年度第 3 四半期に 5,800 万ユーロ計上された DGS への拠出が 2025 年に終了したこと、また 2025 年度第 3 四半期の非経常的項目⁽⁴⁵⁾が寄与しました。営業総利益は 11 億 3,900 ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間比で 3.1%増加しました。リスク関連費用は、2024 年 9 ヶ月累計期間から 6.7%減少し、1 億 5,900 万ユーロとなりました。この結果、CA イタリアの純利益グループ帰属分は 5 億 2,000 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 4.8%増加しました。

2025 年 9 月 30 日現在、クレディ・アグリコール・イタリアに配分された資本は 32 億ユーロで、リスク・ウェイト資産は合計 342 億ユーロでした。

国際リテール・バンキング（イタリアを除く）の業績

2025 年度第 3 四半期には、イタリアを除く国際リテール・バンキング部門の収益は 2 億 3,800 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期と比べて 1.5%減少（為替変動の影響を除くと 0.2%減）しました。ポーランドでの収益は、純利鞘と手数料収入により、2024 年度第 3 四半期比で 2.6%増加（為替変動の影響を除くと 2.2%増加）しました。エジプトでの収益は、手数料収入の増加が中央銀行の政策金利引下げの影響による純利鞘の低下を相殺できず、2024 年度第 3 四半期比で 4.9%減少（為替変動の影響を除くと 3.2%減少）しました。イタリアを除く国際リテール・バンキング部門の営業費用は 1 億 2,200 万ユーロとなり、ポーランドでの人件費及び税ならびにエジプトでの人件費及び IT 費用により、2024 年度第 3 四半期と比べて 0.3%減少しました（為替変動の影響を除くと 0.6%増）。為替変動の影響を除くと、コスト比率はポーランドで 3 パーセント・ポイント改善しました。営業総利益は 1 億 1,700 万ユーロとなり、2024 年第 3 四半期比で 2.8%減少しました（為替変動の影響を除くと 1.0%減）。リスク関連費用は 1,900 万ユーロ（2024 年度第 3 四半期には 1,100 万ユーロ）と低水準にとどまっています。さらに、2025 年 9 月末時点で、貸付残高の不良債権引当率はポーランドで 123%、エジプトで 125%と高水準にとどまっています。ウクライナでは、国内の不良債権引当率は引き続き慎重な水準（605%）となっています。最終的に、イタリアを除く国際リテール・バンキング部門は純利益グループ帰属分に 6,300 万ユーロ寄与し、2024 年度第 3 四半期に比べて、ウクライナの法人所得税のプラスのベース効果⁽⁴⁷⁾により、大幅に増加しました（現在の為替レートで 2.1 倍、為替変動の影響を除くと 1.9 倍に増加）。

2025 年 9 ヶ月累計期間には、イタリアを除く国際リテール・バンキング部門の収益は 7 億 2,600 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 5.3%減少しました（為替変動の影響を除くと 0.8%減）。営業費用は 3 億 7,500 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 3.8%増加しました（為替変動の影響を除くと 5.8%増）。コスト比率は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 4.5 パーセント・ポイント低下し、2025 年 9 月末時点で 51.7%となりました。営業総利益は 3 億 5,100 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 13.5%減少しました（為替変動の影響を除くと 7.0%減）。リスク関連費用は 4,500 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累

⁽⁴⁵⁾ 2025 年度第 3 四半期の費用における非経常的項目は 3,400 万ユーロ

⁽⁴⁶⁾ 残高に対するリスク関連費用（ベーシス・ポイント単位、年換算の四半期ベース）

⁽⁴⁷⁾ ウクライナの法人所得税率の変更に伴う、2024 年度第 3 四半期の約 4,000 万ユーロの影響

計期間と比べて 3.6%増加しました（為替変動の影響を除くと安定）。全体では、イタリアを除く国際リテール・バンキング部門は純利益グループ帰属分に 1 億 9,600 万ユーロ寄与しました。

2025 年 9 月 30 日時点で、リテール・バンキング事業部門全体では、クレディ・アグリコル S.A.の中核事業（コーポレート・センター部門を除く）の純利益グループ帰属分の 20%、コーポレート・センター部門を除く収益の 28%に寄与しました。

2025 年 9 月 30 日現在、同事業部門に配分された資本は 96 億ユーロでした。また、リスク・ウェイト資産は合計 1,014 億ユーロとなりました。

コーポレート・センターの業績

2025 年度第 3 四半期のコーポレート・センター部門の純利益グループ帰属分は 4,800 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期から 2 億 900 万ユーロ増加しました。コーポレート・センター部門の寄与は、「構造的」寄与（プラス 700 万ユーロ）とその他の項目（プラス 4,100 万ユーロ）に区別して分析することができます。「構造的」部分の寄与（プラス 700 万ユーロ）は 2024 年度第 3 四半期と比べて 1 億 6,300 万ユーロ増加し、その内訳は次の 3 事業に分けられます。

- 親会社クレディ・アグリコル S.A.のコーポレート・センターの事業及び機能の寄与は 2025 年度第 3 四半期にマイナス 2 億 3,100 万ユーロとなり、前年同期比で 9,700 万ユーロ減少しました。寄与の減少は、年内の変動に伴う、マイナス 9,000 万ユーロの 2024 年度第 3 四半期の税に関するマイナスのベース効果などによるものでした。当該変動は、2024 年度にかけて相殺されました。
- CACIF（未公開株式）、CA イモビリエ、CATE、BforBank（持分法適用）など中核事業部門に含まれない事業、及びその他の投資の寄与は 2025 年度第 3 四半期、Banco BPM の株式の再評価によるプラスの影響（2 億 3,300 万ユーロ）を含め、2 億 3,100 万ユーロとなり、2024 年度第 3 四半期比で 2 億 5,900 万ユーロ増加しました。
- 最後に、グループ支援機能の寄与は当四半期、700 万ユーロでした（2024 年度第 3 四半期比では安定）。

「その他の項目」の寄与は、主にボラティリティ要因のプラスの影響により、2024 年度第 3 四半期と比べて 4,600 万ユーロ増加し、4,100 万ユーロとなりました。

2025 年 9 ヶ月累計期間のコーポレート・センター部門による基礎純利益グループ帰属分はマイナス 7,600 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 4 億 3,000 万ユーロ増加しました。同部門の 2025 年 9 ヶ月累計期間にわたる構造的部分の寄与はマイナス 1 億 700 万ユーロとなり、他の項目の寄与はプラス 3,100 万ユーロとなりました。

「構造的」部分の寄与は、2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 3 億 9,900 万ユーロ増加し、その内訳は、以下の 3 つの活動に分けられます。

- 親会社クレディ・アグリコル S.A.のコーポレート・センターの事業及び機能の寄与は 2025 年 9 ヶ月累計期間にマイナス 8 億 3,100 万ユーロとなり、2024 年 9 ヶ月累計期間に比べて 7,100 万ユーロ減少しました。
- CACIF（未公開株式）、CA イモビリエ、BforBank（持分法適用）など中核事業部門に含まれない事業、及びその他の投資は 2025 年 9 ヶ月累計期間、Banco BPM の株式の再評価によるプラスの影響を含め、7 億ユーロ寄与し、2024 年 9 ヶ月累計期間に比べて 4 億 6,600 万ユーロ増加しました。
- 最後に、グループ支援機能の 2025 年 9 ヶ月累計期間の寄与は、2024 年 9 ヶ月累計期間比 500 万ユーロ増の 2,400 万ユーロとなりました。

「その他の項目」の寄与は 2024 年 9 ヶ月累計期間と比べて 3,100 万ユーロ増加しました。

2025 年 9 月 30 日現在、リスク・ウェイト資産は 402 億ユーロでした。

財務の健全性

クレディ・アグリコル・グループの支払能力は欧州のグローバルなシステム上重要な銀行のなかで最高水準にあります。

クレディ・アグリコル・グループの自己資本比率は規制要件を大きく上回っています。2025 年 9 月 30 日時点で、クレディ・アグリコル・グループの段階適用の普通株式等 Tier 1 レシオ (CET1) は 17.6%で、規制要件を 7.7 パーセンテージ・ポイント上回っており、非常に余裕があります。当四半期の CET1 レシオは、内部留保の増加 (+27 ベーシス・ポイント) 及びその他のキャピタル・ゲイン⁴⁸が、事業部門の内政成長 (-22 ベーシス・ポイント) 及び外部成長 (-20 ベーシス・ポイント)⁴⁹[D:\lyf\20251031\廣瀬 25IA19R577295\CASA_PR_2025-T3---lyf--zi.docx - bookmark58](#)を補い、安定的に推移しました。

クレディ・アグリコル S.A.は、クレディ・アグリコル・グループのコーポレート・センターとして、グループ内の法的連携体制と柔軟な資本循環から十分に利益を受けています。2025 年 9 月 30 日現在の段階的導入 CET1 比率は 11.7%で、2025 年 6 月と比べて 20 ベーシス・ポイント低下し、規制要件を 2.9 パーセント・ポイント上回りました。当四半期の変動の要因は、内部留保が+20 ベーシス・ポイント、事業部門の内部成長が-21 ベーシス・ポイント、M&A 取引が-31 ベーシス・ポイントでした⁽⁵⁰⁾。その他の影響は、OCI 及びその他のカテゴリー⁽⁵¹⁾によるものでした。

クレディ・アグリコル S.A.のリスク・ウェイト資産は、2025 年 9 月末には、80 億ユーロ増加して 4,140 億ユーロになりました。当四半期のリスク・ウェイト資産の増加は複合的な影響によるものです。リテール・バンキング部門で事業部門の変更に関連して 7 億ユーロ増、アセット・ギャザリング部門で 21 億ユーロ増（うち、保険事業の持ち分の増加に関連して 13 億ユーロ増）、専門金融サービス部門で安定的な伸び、大口顧客部門で事業部門の成長に関連して 30 億ユーロ増、基準の超過に関連する Banco BPM の出資の中立的影響を含め、コーポレート・センター部門で 20 億ユーロ増となりました。

クレディ・アグリコル・グループのリスク・ウェイト資産は 2025 年 9 月末、当四半期に 90 億ユーロ増加して、6,580 億ユーロになりました。地域銀行のリスク・ウェイト資産は 6 億ユーロ減少しました。当四半期における変動は、クレディ・アグリコル S.A.と同様に推移したその他の事業の動向とグループ・レベルの基準を超えられなかったことによるものです。

⁽⁴⁸⁾ うち、+5 ベーシス・ポイントは従業員のために留保された増資に関連

⁽⁴⁹⁾ うち、-15 ベーシス・ポイントはサンタンデールの保有する CACEIS の持分の取得に関連し、-3 ベーシス・ポイントは IWM による Banque Thaler の買収に関連

⁽⁵⁰⁾ うち、-24 ベーシス・ポイントはサンタンデールの保有する CACEIS の株式の取得に関連し、-4 ベーシス・ポイントは IWM による Banque Thaler の買収に関連

⁽⁵¹⁾ 従業員のために留保された増資 (+7 ベーシス・ポイント) や Banco BPM の影響 (OCI 及び免責金) (-9 ベーシス・ポイント) など

クレディ・アグリコル・グループの財務構造

	Crédit Agricole Group			Crédit Agricole S.A.		
	30/09/25	30/06/25	Requirements 30/09/25	30/09/25	30/06/25	Requirements 30/09/25
Phased-in CET1 ratio ⁽⁵²⁾	17.6%	17.6%	9.9%	11.7%	11.9%	8.8%
Tier1 ratio ⁽⁵²⁾	18.9%	18.9%	11.7%	13.7%	14.0%	10.6%
Ratio global ⁽⁵²⁾	21.3%	21.4%	14.2%	17.4%	17.8%	13.0%
Risk-weighted assets (€bn)	658	649		414	406	
Leverage ratio	5.6%	5.6%	3.5%	3.9%	3.9%	3.0%
Leverage exposure (€bn)	2,203	2,191		1,456	1,445	
TLAC ratio (% RWA) ^{(52), (53)}	27.6%	27.6%	22.4%			
TLAC ratio (% LRE) ⁽⁵³⁾	8.2%	8.2%	6.75%			
Subordinated MREL ratio (% RWA) ⁽⁵²⁾	27.6%	27.6%	21.6%			
Subordinated MREL ratio (% LRE)	8.2%	8.2%	6.25%			
Total MREL ratio (% RWA) ⁽⁵²⁾	32.4%	32.7%	26.2%			
Total MREL ratio (% LRE)	9.7%	9.7%	6.25%			
Distance to the distribution restriction trigger (€bn) ⁽⁵⁴⁾	47	46		12	13	

クレディ・アグリコル S.A.では、分配制限のトリガーまでの距離は **MDA トリガー** ⁽⁵⁴⁾ までの距離、すなわち 289 ベーシスポイント（2025 年 9 月 30 日時点の CET1 資本の 120 億ユーロ）です。クレディ・アグリコル S.A.は L-MDA（レバレッジ・レシオ・バッファ要件までの距離）要件また M-MDA（MREL 要件までの距離）の対象外です。

クレディ・アグリコル・グループでは、分配制限までの距離は 2025 年 9 月 30 日時点の **L-MDA トリガー**までの距離です。クレディ・アグリコル・グループは、L-MDA トリガーを 214 ベーシスポイント（Tier 1 資本で 470 億ユーロ）上回るバッファとなりました。

クレディ・アグリコル・グループの **TLAC レシオ**及び **MREL レシオ**は 2025 年 9 月 30 日時点で、要件を大きく上回っています ⁽⁵³⁾。クレディ・アグリコル・グループは、**M-MDA トリガー**を 520 ベーシスポイント（CET1 資本で 340 億ユーロ）上回るバッファとなりました。2025 年 9 月 30 日時点で、M-MDA トリガーまでの距離は、TLAC 比率と対応要件との間の距離に相当します。クレディ・アグリコル・グループの 2025 年の目標は、適格優先シニア債を除き、TLAC レシオを RWA の 26%以上に維持することです。

⁽⁵²⁾ 総合資本バッファ要件を含め、2025 年 9 月 30 日時点で SREP 要件を適用。総合資本バッファ要件は、(a) クレディ・アグリコル・グループの場合は 2.5%の資本保全バッファ、1%の G-SIB バッファ（2024 年 11 月 27 日に ACPR から受領した通知を受け、2026 年 1 月 1 日に 1.5%に引き上げ予定）、0.77%に設定されたカウンターシクリカル・バッファ、それに 0.11%のシステムミック・リスク・バッファ、(b) クレディ・アグリコル S.A.の場合は 2.5%の資本保全バッファ、0.66%に設定されたカウンターシクリカル・バッファ、それに 0.18%のシステムミック・リスク・バッファ。

⁽⁵³⁾ クレディ・アグリコル・グループは、年次の破綻処理可能性評価の一環として、自己資本規制規則（CRR）第 72b 条 3 項が認めている、2025 年の TLAC 規制の遵守に優先シニア債を使用する可能性を引き続き放棄することを選択しました。

⁽⁵⁴⁾ 総合資本バッファ要件を遵守していない場合。クレディ・アグリコル S.A.の分配可能要素は 429 億ユーロで、内訳は 2024 年 12 月 31 日時点で分配可能積立金が 296 億ユーロ、資本剰余金が 133 億ユーロです。

流動性と資金調達

流動性は、クレディ・アグリコル・グループのレベルで測定されます。

2024 年 12 月 31 日に当グループの流動性ポジションの表示（流動性準備金、流動性バランスシート、長期債務の内訳）が変更されました。これらの変更は、2024 ユニバーサル登録文書に記載されています。

多様でばらつきのある顧客預金は 2025 年 9 月末で 1 兆 1,590 億ユーロとなり、2025 年 6 月末に比べて 120 億ユーロ増加しました。

2025 年 9 月 30 日時点の当グループの流動性準備金は、ヘアーカット後の時価⁽⁵⁵⁾で 4,880 億ユーロとなり、2025 年 6 月 30 日から 170 億ユーロ増加しました。

流動性準備金は、トレジャリー資産控除後の短期債務の 2 倍を超えています。

流動性準備金の変動は、とりわけ以下の要因によるものでした。

- 証券ポートフォリオ（適格流動資産（HQLA）及び非 HQLA）が 90 億ユーロ増加
- 中央銀行に差し入れた担保のうち担保権が解除された資産が 60 億ユーロ増加（そのうち自己証券化が 40 億ユーロ増、中央銀行向け適格債権が 20 億ユーロ増）
- 中央銀行預け金が 20 億ユーロ増加

クレディ・アグリコル・グループは、即時利用可能な準備金（ECB の資金供給に依拠した後）を維持する取組みを継続しています。ヘアーカット後の中央銀行適格非 HQLA 資産は 1,370 億ユーロとなりました。

2025 年 9 月 30 日現在の当グループの流動性のバランスシートは 1 兆 7,100 億ユーロとなり、**安定的な使用資金に対する安定的な調達資金の超過額は 1,940 億ユーロ**で、2025 年 6 月末と比べて 150 億ユーロ増加しました。超過額は中期計画の目標である 1,100 億～1,300 億ユーロを大幅に上回っています。

長期債務は 2025 年 9 月 30 日時点で 3,220 億ユーロで、2025 年 6 月末に比べて 60 億ユーロ増加しました。長期債務には、以下のものが含まれます：

- 950 億ユーロの担保付きシニア債（20 億ユーロ増）
- 1,650 億ユーロの優先シニア債（30 億ユーロ増）
- 400 億ユーロの非優先シニア債（MREL/TLAC 適格債により 20 億ユーロ増）
- 220 億ユーロの Tier 2 債券（10 億ユーロ減）

信用機関は、2018 年 1 月 1 日に 100%に設定されたこの LCR レシオの基準値を条件付けられます。

2025 年 9 月 30 日時点の平均 LCR レシオ（ローリング 12 か月ベースで算定）は、クレディ・アグリコル・グループが 135%（830 億ユーロの余剰に相当）、**クレディ・アグリコル S.A.が 140%**（810 億ユーロの余剰に相当）でした。これは、およそ 110%という中期計画目標を上回りました。

加えて、クレディ・アグリコル・グループとクレディ・アグリコル S.A.の安定調達比率（NSFR）は 100%を超え、2021 年 9 月 28 日以降適用される規制要件に適合し、100%超という中期計画の目標を上回っています。

⁽⁵⁵⁾ 流動性準備金に含まれる有価証券は 2024 年 12 月以降、流動性ストレス時の有価証券の清算価値を最もよく表すために、特異的ストレス（以前はシステミック・ストレス）を割り引いた上で評価されています。

当グループは、投資家基盤と商品の点で非常に多様な市場アクセスを確保して、今後も中長期資金供給について慎重な方針に従います。

2025 年 9 月 30 日時点で、当グループの主要発行体は、中・長期債によって市場で 278 億ユーロ相当額⁽⁵⁶⁾を調達し、このうちの 85%がクレディ・アグリコル S.A.によって発行されました。

具体的には、クレディ・アグリコル S.A.を除いた当グループでは以下の金額が計上されています。

- クレディ・アグリコル・アシュアランスは 7 億 5,000 万ユーロのノンコール期間 10.75 年の RT1 永久債を発行しました。
- クレディ・アグリコル・パーソナル・ファイナンス & モビリティは以下の発行を行いました。
 - クレディ・アグリコル・オートバンク (CAAB) を介して 10 億ユーロのユーロ中期債 (EMTN) の発行
 - Agos を介した 14 億ユーロの証券化
- クレディ・アグリコル・イタリアは総額 10 億ユーロの 1 件の担保付きシニア債を発行しました。
- クレディ・アグリコル・ネクスト・バンク (スイス) は、総額 2 億スイスフランの担保付きシニア債形式で 2 件のトランシェを発行し、そのうち 1 億スイスフランはグリーンボンド形式で発行しました。

2025 年 9 月 30 日に、クレディ・アグリコル S.A.は市場を通じて 209 億ユーロ相当の資金を調達しました⁽⁵⁶⁾、⁽⁵⁷⁾。

当行は 209 億ユーロ相当額を調達し、9 月末時点で、このうち 99 億ユーロ相当額が非優先シニア債、28 億ユーロ相当額が Tier 2 債券、25 億ユーロ相当額が優先シニア債、57 億ユーロ相当額が担保付きシニア債でした。資金調達は以下を含め、様々な形式と通貨で構成されています。

- 40 億ユーロ⁽⁵⁷⁾、⁽⁵⁸⁾
- 69 億米ドル (64 億ユーロ相当)
- 16 億ポンド (19 億ユーロ相当)
- 1,793 億円 (11 億ユーロ相当)
- 4 億シンガポール・ドル (3 億ユーロ相当)
- 21 億豪ドル (12 億ユーロ相当)
- 4 億スイスフラン (4 億ユーロ相当)

クレディ・アグリコル S.A.は 9 月末時点で資金調達計画の 74%⁽⁵⁷⁾、⁽⁵⁸⁾をユーロ以外の通貨で発行しています。

またクレディ・アグリコル S.A.は以下を行いました。

- 2025 年 2 月 13 日に 15 億ユーロのノンコール期間 10 年の AT1 永久債を当初の利率 5.875%で発行し、2025 年 4 月 30 日には残高 1 億 300 万ポンドのポンド建て AT1 債 (XS1055037920) について、2025 年 6 月 28 日までは不適格で適用除外されている法改正に伴う早期償還を 2025 年 6 月 30 日に実施することを発表しました。
- 2025 年 9 月 2 日に 12 億 5,000 万ドルのノンコール期間 10 年の AT1 永久債を当初の利率 7.125%で発行し、同時に米ドル建て債 (US225313AJ46/USF2R125CD54) 及びポンド建て債 (XS2353100402/XS2353099638) の公開買戻しを実施し、また 2025 年 10 月 30 日には、残高 4 億 5,800 万ドルのドル建て AT1 債 (US225313AJ46/USF2R125CD54) のコールオプションを行使し 2025 年 12 月 23 日に償還することを発表しました。

2025 年の MLT 市場資金調達プログラムは 200 億ユーロに設定され、優先シニア債または担保付きシニア債と非優先シニア債または Tier 2 債で偏りなく分けられました。

当該プログラムは 2025 年 9 月 30 日時点で以下の通り、105%完了しています。

- 担保付きシニア債で 57 億ユーロ
- 優先シニア債で 25 億ユーロ相当
- 非優先シニア債で 99 億ユーロ相当
- Tier 2 債で 28 億ユーロ相当

⁽⁵⁶⁾ 買戻し及び部分返済控除前の総額

⁽⁵⁷⁾ AT1 発行を除く

⁽⁵⁸⁾ 担保付きシニア債発行を除く

付属資料 1 - クレディ・アグリコル・グループ：部門別損益計算書

クレディ・アグリコル・グループ - 部門別実績（2025 年度第 3 四半期と 2024 年度第 3 四半期）

€m	Q3-25							
	RB	LCL	IRB	AG	SFS	LC	CC	Total
Revenues	3,422	982	1,020	1,844	883	2,099	(520)	9,731
Operating expenses	(2,434)	(638)	(524)	(969)	(447)	(1,246)	471	(5,787)
Gross operating income	988	345	496	876	436	853	(49)	3,944
Cost of risk	(376)	(92)	(77)	(9)	(278)	(37)	0	(869)
Equity-accounted entities	-	-	-	52	(9)	7	-	50
Net income on other assets	(1)	2	(0)	(1)	1	(1)	(0)	(0)
Income before tax	611	255	418	918	150	822	(49)	3,125
Tax	(160)	(70)	(126)	(187)	(31)	(269)	97	(745)
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	-	-	(0)	-	-	-	-	(0)
Net income	451	185	292	731	119	553	48	2,379
Non controlling interests	(0)	(0)	(40)	(83)	(22)	79	2	(63)
Net income Group Share	451	185	253	649	97	632	50	2,316

€m	Q3-24							
	RB	LCL	IRB	AG	SFS	LC	CC	Total
Revenues	3,266	979	1,029	1,857	869	2,054	(842)	9,213
Operating expenses	(2,409)	(608)	(539)	(868)	(437)	(1,240)	511	(5,590)
Gross operating income	857	371	490	989	433	814	(331)	3,623
Cost of risk	(364)	(82)	(60)	(13)	(223)	(19)	(40)	(801)
Equity-accounted entities	0	-	-	33	23	6	-	61
Net income on other assets	0	0	0	(3)	(2)	(0)	(2)	(5)
Income before tax	493	290	430	1,006	231	801	(372)	2,877
Tax	(122)	(66)	(176)	(156)	(42)	(234)	210	(587)
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	-	-	-	-	-	-	-	-
Net income	371	224	254	850	189	566	(162)	2,291
Non controlling interests	(1)	(0)	(40)	(128)	(17)	(35)	10	(211)
Net income Group Share	371	223	214	722	172	531	(153)	2,080

クレディ・アグリコル・グループ – 部門別実績（2025 年 9 ヶ月累計期間と 2024 年 9 ヶ月累計期間）

	9M-25							
€m	RB	LCL	IRB	AG	SFS	LC	CC	Total
Revenues	10,138	2,922	3,099	5,861	2,632	6,730	(1,795)	29,586
Operating expenses	(7,654)	(1,860)	(1,600)	(2,768)	(1,359)	(3,862)	1,453	(17,651)
Gross operating income	2,484	1,062	1,499	3,093	1,273	2,868	(343)	11,936
Cost of risk	(1,092)	(278)	(206)	(26)	(762)	(32)	(47)	(2,443)
Equity-accounted entities	7	-	-	137	14	22	-	180
Net income on other assets	3	4	(0)	448	2	(0)	0	456
Income before tax	1,401	788	1,294	3,652	526	2,858	(390)	10,128
Tax	(427)	(250)	(393)	(786)	(102)	(723)	279	(2,401)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	0	-	-	-	-	0
Net income	974	537	900	2,866	424	2,136	(111)	7,727
Non controlling interests	(1)	(0)	(122)	(431)	(64)	0	10	(608)
Net income Group Share	974	537	778	2,436	360	2,136	(101)	7,120

	9M-24							
€m	RB	LCL	IRB	AG	SFS	LC	CC	Total
Revenues	9,834	2,912	3,161	5,596	2,605	6,544	(2,407)	28,244
Operating expenses	(7,453)	(1,801)	(1,637)	(2,435)	(1,333)	(3,741)	1,535	(16,866)
Gross operating income	2,381	1,111	1,523	3,161	1,272	2,803	(872)	11,378
Cost of risk	(1,056)	(295)	(219)	(18)	(653)	(25)	(59)	(2,324)
Equity-accounted entities	7	-	-	94	83	20	-	203
Net income on other assets	3	5	0	(23)	(3)	2	(3)	(19)
Income before tax	1,335	820	1,305	3,214	699	2,800	(935)	9,238
Tax	(313)	(185)	(436)	(658)	(138)	(717)	343	(2,104)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	-	-	-	-	-	-
Net income	1,022	635	869	2,557	560	2,083	(592)	7,134
Non controlling interests	(1)	(0)	(129)	(364)	(59)	(104)	15	(643)
Net income Group Share	1,021	635	739	2,193	502	1,979	(577)	6,491

付属資料 2 - クレディ・アグリコル S.A. : 部門別損益計算書

クレディ・アグリコル S.A. — 部門別実績（2025 年度第 3 四半期と 2024 年度第 3 四半期）

€m	Q3-25						
	AG	LC	SFS	RRB (LCL)	IRB	CC	Total
Revenues	1,866	2,099	883	982	997	23	6,850
Operating expenses	(969)	(1,246)	(447)	(638)	(504)	(34)	(3,837)
Gross operating income	897	853	436	345	493	(11)	3,013
Cost of risk	(9)	(37)	(278)	(92)	(76)	2	(489)
Equity-accounted entities	52	7	(9)	-	-	(21)	29
Net income on other assets	(1)	(1)	1	2	(0)	0	1
Income before tax	940	822	150	255	417	(30)	2,553
Tax	(192)	(269)	(31)	(70)	(126)	82	(606)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	-	-	(0)	-	(0)
Net income	747	553	119	185	291	52	1,947
Non controlling interests	(88)	69	(22)	(8)	(58)	(4)	(111)
Net income Group Share	660	622	97	177	232	48	1,836

€m	Q3-24						
	AG	LC	SFS	RRB (LCL)	IRB	CC	Total
Revenues	1,870	2,054	869	979	1,006	(290)	6,487
Operating expenses	(868)	(1,240)	(437)	(608)	(519)	(17)	(3,689)
Gross operating income	1,002	814	433	371	486	(307)	2,799
Cost of risk	(13)	(19)	(223)	(82)	(59)	(37)	(433)
Equity-accounted entities	33	6	23	-	-	(19)	42
Net income on other assets	(3)	(0)	(2)	0	0	0	(4)
Income before tax	1,019	800	231	290	427	(363)	2,404
Tax	(157)	(234)	(42)	(66)	(176)	199	(476)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	-	-	-	-	-
Net income	862	566	189	224	252	(164)	1,928
Non controlling interests	(135)	(46)	(17)	(10)	(58)	4	(262)
Net income Group Share	728	520	172	214	194	(161)	1,666

クレディ・アグリコル S.A. — 部門別実績（2025 年 9 ヶ月累計期間と 2024 年 9 ヶ月累計期間）

€m	9M-25						
	AG	LC	SFS	RRB (LCL)	IRB	CC	Total
Revenues	5,894	6,731	2,632	2,922	3,030	(96)	21,113
Operating expenses	(2,768)	(3,862)	(1,359)	(1,860)	(1,539)	(140)	(11,528)
Gross operating income	3,126	2,868	1,273	1,062	1,490	(236)	9,584
Cost of risk	(26)	(32)	(762)	(278)	(204)	(43)	(1,344)
Equity-accounted entities	137	22	14	-	-	(68)	106
Net income on other assets	452	(0)	2	4	(0)	0	457
Income before tax	3,689	2,859	526	788	1,287	(346)	8,803
Tax	(794)	(723)	(102)	(250)	(392)	287	(1,973)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	-	-	0	-	0
Net income	2,895	2,136	424	537	895	(59)	6,829
Non controlling interests	(456)	(40)	(64)	(24)	(179)	(17)	(780)
Net income Group Share	2,440	2,097	360	513	716	(76)	6,050

€m	9M-24						
	AG	LC	SFS	RRB (LCL)	IRB	CC	Total
Revenues	5,603	6,543	2,605	2,912	3,090	(665)	20,089
Operating expenses	(2,435)	(3,741)	(1,333)	(1,801)	(1,580)	(88)	(10,978)
Gross operating income	3,168	2,802	1,272	1,111	1,510	(752)	9,111
Cost of risk	(18)	(25)	(653)	(295)	(213)	(53)	(1,256)
Equity-accounted entities	94	20	83	-	-	(65)	132
Net income on other assets	(23)	2	(3)	5	0	24	5
Income before tax	3,221	2,800	699	820	1,297	(846)	7,991
Tax	(659)	(717)	(138)	(185)	(435)	343	(1,790)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	-	-	-	-	-
Net income	2,563	2,083	560	635	862	(503)	6,201
Non controlling interests	(382)	(147)	(59)	(28)	(184)	(3)	(803)
Net income Group Share	2,180	1,936	502	607	678	(506)	5,397

付属資料 3 – 1 株当たりのデータ

クレディ・アグリコル S.A. – 1 株当たり利益、1 株当たり純資産額及び RoTE

€m	Q3-25	Q3-24	9M-25	9M-24
Net income Group share	1,836	1,666	6,050	5,397
- Interests on AT1, including issuance costs, before tax	(268)	(130)	(409)	(351)
- Foreign exchange impact on reimbursed AT1	53	(19)	56	(266)
NIGS attributable to ordinary shares [A]	1,621	1,517	5,697	4,780
Average number shares in issue, excluding treasury shares (m) [B]	3,037	3,031	3,028	3,007
Net earnings per share [A]/[B]	0.53 €	0.50 €	1.88 €	1.59 €

€m	30/09/25	30/09/24
Net income Group share	77,698	71,386
- Interests on AT1, including issuance costs, before tax	(8,564)	(6,102)
- Foreign exchange impact on reimbursed AT1	2,871	2,517
NIGS attributable to ordinary shares [D]	72,005	67,802
Average number shares in issue, excluding treasury shares (m)	(19,257)	(17,778)
Net earnings per share [E]	52,748	50,023
Net income Group share [F]	3,048	3,040
- Interests on AT1, including issuance costs, before tax [D]/[F]	23.6 €	22.3 €
- Foreign exchange impact on reimbursed AT1 [G]=[E]/[F]	17.3 €	16.5 €

** including goodwill in the non-controlling interests

€m	9M-25	9M-24
Net income Group share	6,050	5,397
Added value Amundi US	304	0
Additional corporate tax	-119	0
IFRIC	-173	-110
NIGS annualised (1) [N]	8,045	7,233
Interests on AT1, including issuance costs, before tax, foreign exchange impact, annualised [O]	-489	-734
Result adjusted [P] = [N]+[O]	7,556	6,499
Tangible NBV (TNBV), not revaluated attrib. to ord. sh. - avg *** (2) [J]	49,167	46,636
ROTE (%) = [P] / [J]	15.4%	13.9%

*** 当期事業の想定配当を含みます。

- (1) ROTE は、年率換算した純利益グループ帰属分、IFRIC コスト、法人税の追加超過額、当年度にわたって線形化したアムンディのキャピタルゲインに基づいて計算しています。
- (2) 2024 年 12 月 31 日から 2025 年 9 月 30 日までに算出され、普通株式に帰属する再評価前の TNBV の平均 ([E] 行)。平均株主資本グループ帰属分は、無形資産、未実現の剰余金、AT1 債の残高、および当期利益に対する配当案に相当します。

代替的業績指標 ⁵⁹

NBV（純資産額）（再評価されない）

再評価されない純資産額は、AT1 債券の発行額、OCI グループ帰属分の未実現損益、及び年間業績に関する配当金想定額を控除した株主資本グループ帰属分に相当しています。

1 株当たり純資産額、1 株当たり純有形資産価額

株式の価値を計算する方法の 1 つ。これは、自己株式を除く期末の発行済株式数で除した純資産額です。

1 株当たり純有形資産価額は、自己株式を除く期末の発行済株式数で除した、無形資産及びのれんを控除後の純資産額です。

EPS（1 株当たり利益）

これは、自己株式を除く平均発行済株式数で除した、AT1 債券利息控除後の純利益グループ帰属分です。EPS は、（各株主に支払われる利益部分（配当）ではなく）各株式に帰せられる利益部分を表します。これは、株式数が増加する場合、純利益グループ帰属分に変動がないと想定すると減少します。

コスト比率

コスト比率は、営業費用を収益で除すことで算定され、営業費用を賄うのに必要な収益の割合を表します。

リスク関連費用／残高

（ローリング 4 四半期の）信用リスク関連費用を、（期首における過去 4 四半期の平均）残高で除して算定されます。また、当該四半期の信用リスク関連費用の年換算額を当該四半期の期首残高で除して算出することもできます。同様に、当該期間のリスク関連費用を年換算し、期首の平均残高で除すこともできます。

2019 年度第 1 四半期より、算定に用いる残高は、引当金控除前の顧客残高です。

この指標の算出方法は、この指標が使用される度に明示されます。

要注意債権

要注意債権はデフォルト状態の債権です。融資先は、次の 2 つの条件のいずれかが満たされた場合にデフォルト状態とみなされます。

- 支払が概して 90 日超遅延している（支払遅延が融資先の財務状況とは無関係の理由による旨の事実を具体的な状況が指し示している場合を除く）。
- 担保権の執行などの特定の措置を活用する以外に、融資先がその信用債務を決済する可能性が低いと考えられる。

減損債権

不履行のリスクがあるために、引当金が設定された貸付金。

減損（又は不良）債権引当率

この比率は、引当金残高を減損顧客貸出金総額で除して算出されます。

⁽⁵⁹⁾ APM は、財務諸表には表示されず、会計基準にも定義されていないが、純利益グループ帰属分や RoTE などの財務情報の提供において使用される財務指標です。これらは、会社の実際の業績を理解しやすくするために使用されます。各 APM 指標は、その定義において会計データとマッチングされます。

減損（または不良）債権比率

この比率は、個別に評価減された引当金控除前の顧客貸付総額を、顧客貸付総額の合計で除算したものです。

純利益グループ帰属分

当該事業年度の税引後純利益（損失）。全部連結された子会社における純利益グループ帰属分から非支配持分に帰属する部分を控除した額に相当します。

普通株式に帰せられる純利益グループ帰属分

普通株式に帰属する純利益グループ帰属分は、AT1 利息控除後で、税引前発行費用を含む、純利益グループ帰属分を表します。

RoTE（有形株主資本利益率）

RoTE (有形株主資本利益率) は有形株主資本に関する収益性の指標で、無形資産および営業権の減損を除き、AT1 債のクーポンを差し引いた年間換算純利益グループ帰属分を、無形資産、未実現損益、AT1 債の残高および翌期の想定配当を調整した平均株主資本グループ帰属分と比較します。

免責事項

クレディ・アグリコル S.A. 及びクレディ・アグリコル・グループの 2025 年度第 3 四半期及び 2025 年 9 ヶ月累計期間の財務情報は、本プレスリリース、プレゼンテーションのスライド、プレゼンテーションの付属資料から構成されています。

これらは、<https://www.credit-agricole.com/en/finance/financial-publications> で入手可能です。

本プレゼンテーションは、当グループの動向に関する情報として提供される将来の情報を含む場合があります。このデータは、2019 年 3 月 14 日の EU 委託法令 2019/980（第 1 章第 1 条 d）の意味での予測ではありません。

この情報は、一定の競争環境や規制環境における多くの経済的仮定に基づいたシナリオから作成されました。したがって、これらの仮定は、実際の結果が予測と異なる原因となりうるランダムな要因に左右されます。同様に、財務諸表は、特に時価や資産の減損の計算において、見積りに基づいています。

読者は、自らの判断を下す前に、これらすべてのリスク要因と不確実性を考慮に入れる必要があります。

適用基準及び比較可能性

2025 年 9 月 30 日に終了した 9 ヶ月間の数値は、欧州連合で採択され、同日に適用可能な IFRS 及び現在施行されている健全性規制に従って作成されています。本財務情報は、IAS 第 34 号「中間財務報告」で規定されている中間期の財務諸表に相当するものではなく、監査を受けていません。

注記：クレディ・アグリコル S.A. 及びクレディ・アグリコル・グループの連結範囲には、AMF（フランスの金融市場庁）に提出されたクレディ・アグリコル S.A. 2024 ユニバーサル登録文書と A.01 改訂版（クレディ・アグリコル・グループに関するすべての規制情報を含む）以降、重要な変更はありません。

表及び分析に含まれる数値の合計は、四捨五入のため、報告された合計と若干異なる場合があります。

決算スケジュール

2025 年 11 月 8 日	中期計画の発表
2026 年 2 月 4 日	2025 年度第 4 四半期及び通年の決算発表
2026 年 4 月 30 日	2026 年度第 1 四半期の決算発表
2026 年 5 月 20 日	2026 年総会
2026 年 7 月 31 日	2026 年度第 2 四半期及び上半期の決算発表
2026 年 10 月 30 日	2026 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の決算発表

問い合わせ先

クレディ・アグリコルのプレス対応担当者

アレクサンドル・バラット	+ 33 1 57 72 12 19	alexandre.barat@credit-agricole-sa.fr
オリヴィエ・タサン	+ 33 1 43 23 25 41	olivier.tassain@credit-agricole-sa.fr
マチルド・デュラン	+ 33 1 57 72 19 43	mathilde.durand@credit-agricole-sa.fr
ベネディクト・グヴェール	+ 33 1 49 53 43 64	benedicte.gouvert@ca-fnca.fr

クレディ・アグリコル S.A.IR 担当者

機関投資家		investor.relations@credit-agricole-sa.fr
個人株主	+ 33 800 000 777 (フリーダイヤル - フランスのみ)	relation@actionnaires.credit-agricole.com

セシル・ムートン	+ 33 1 57 72 86 79	cecile.mouton@credit-agricole-sa.fr
----------	--------------------	--

株式 IR 担当 :

ジャン=ヤン・アセラフ	+ 33 1 57 72 23 81	jean-yann.asserat@credit-agricole-sa.fr
フェティ・アズーグ	+ 33 1 57 72 03 75	fethi.azzoug@credit-agricole-sa.fr
オリアーネ・カンテ	+ 33 1 43 23 03 07	orlane.cante@credit-agricole-sa.fr
ニコラ・イアンナ	+ 33 1 43 23 55 51	nicolas.ianna@credit-agricole-sa.fr
レイラ・マムー	+ 33 1 57 72 07 93	leila.mamou@credit-agricole-sa.fr
アンナ・ピグレフスキー	+ 33 1 43 23 40 59	anna.pigoulevski@credit-agricole-sa.fr

債券投資家及び格付機関担当 :

グウェナエル・レレスト	+ 33 1 57 72 57 84	gwenaelle.lereste@credit-agricole-sa.fr
フローレンス・クインティン・デ・ケルカディオ	+ 33 1 43 23 25 32	florence.quintindekercadio@credit-agricole-sa.fr
ユーリー・ロマノフ	+ 33 1 43 23 86 84	yury.romanov@credit-agricole-sa.fr

すべてのプレスリリースは、www.credit-agricole.com-www.creditagricole.infoをご覧ください。



Crédit_Agricole



Crédit Agricole Group



creditagricole_sa